

海の向こうに広がる絶景を探して

# EXPEDITION CRUISES

南極／アイスランド／北極圏横断／スヴァールバル  
グリーンランド／北西航路&北極圏カナダ／アラスカ  
南米／ガラパゴス諸島／英国諸島／ノルウェー



**SINCE 1893**

© SHAYNE/HURTIGRUTEN

**Small Ship, Big Adventure**



© Dominic Barrington



© Hurtigruten



© ANKE TIMMERBERG, THEME MEDIA



## クルーズライフ インフォメーション

### 気候

探検クルーズでは、そのベストシーズンに北極から南極まで世界中の秘境を旅します。そのため、南極であっても-20°C以下の極寒になるようなことはありません。しかしながら、極地の天候は変わりやすく、高緯度のため太陽の日差しが強い場合もあります。

#### ◆南極の気候

平均気温：-3.6°C～+0.5°C(10～3月)  
南極の夏のシーズンに訪れます。最近は異常気象によりもっと温かくなることもあります。

#### ◆スピッツベルゲンの気候

平均気温：-4°C～+5.9°C(5～9月)  
5月中旬から7月中旬は24時間太陽が沈まない「ミッドナイトサン」の季節です。

#### ◆グリーンランドの気候

平均気温：+1.1°C～+10.7°C(6～8月)  
夏の南部では20°Cを超える場合もあり、北部は気温が大きく下がる場合もあります。

### 服装

船内のドレスコードはカジュアルです。船外でも探検家が着用するような装備は不要ですが、通気性の良い、防水防風の衣類をお持ちください。冬季は、温かい帽子、手袋、マフラーや保温性の高い衣類なども有用です。

参加するエクスカージョンによっては頑丈な靴が必要です。杖、トレッキングポールなどもあれば便利でしょう。

※長靴やトレッキングポールの無料レンタルをご用意している船、航路もございます。事前にご確認ください。

※防風防水ジャケットをプレゼントします。事前にご確認ください。

### 電源

220V/50HZ、プラグCタイプ(丸ピン2つ)  
日本の電化製品を使用するには専用プラグ(Cタイプ)が必要です。自動変圧器の付いていない機器をご使用の際は必ず変圧器をご利用ください。

### クルーズカード

チェックイン時にクルーズカードが発行されます。このカードは乗下船の際の身分証明書、客室の鍵、船内での支払いの際に有効なクレジットカードとしても有用です。

### 船内通貨

ユーロ(€)です。主要通貨は船内でも両替が可能です。

### お支払い

クレジットカード  
VISA、アメリカン・エキスプレス、マスターカード、ダイナースクラブがご利用いただけます。クレジットカードを一度登録しクルーズカードと連動させれば、船内でのお支払いはクルーズカード一つで済ませることが出来ます。クレジットカードの登録はチェックイン時に済ませるか、レセプションでお問い合わせください。

### チップ

基本的にチップは不要です。もし特別なサービスを受けたと感じたら心づけをご用意いただければ幸いです。

### 飲み水

お部屋の水道水は飲料水としてご利用いただけますが、レストランでは自家製の飲料水をカラフェに入れてご提供します。お食事の際には無料でガス入り、ガスなしの水がサービスされます。飲料水をボトルへ詰めることができるウォーターステーションもございます。

### 医務室

エクスペディションシップには英語を話す医師、看護師が乗船しています。(ノールスチャーネンには乗船していません。)

船内には小さな医務室があり、緊急時の応急処置を行います。十分な施設ではありません。診察料、薬の処方是有料です。持病をお持ちの方は、万が一に備え多めのお薬をご携帯ください。緊急事態の場合、医療施設の整った場所への航空輸送が唯一の手段となり、高額な費用が発生する場合があります。包括的な海外旅行傷害保険にご加入ください。

### 喫煙

船内は禁煙です。屋外デッキの所定のエリアでのみ喫煙可能です。上陸用ポートの上、上陸時は禁煙です。

### ランドリー

有料で洗濯サービスをご利用いただけます。スイートのお客様は無料でご利用いただけます。

### インターネット

船内ではスペースエックス社のブロードバンドシステム「スターリンク」Wi-Fiを無料でご利用いただけます。

航行中の船の位置によっては、携帯電話の使用やインターネットの接続ができない場合がございます。

### 天候状況

天候によっては上陸や小型ボートの使用が困難であり、場合によっては不可能な場合もあります。エクスペディションクルーズでは、そういった予測不可能な事態がしばしば旅の醍醐味となることがあります。予期せぬ状況を寛容にとらえ、臨機応変にクルーズをお楽しみいただける様にお願ひ申し上げます。

### 旅程やエクスカージョンの変更

エクスペディションクルーズは全てが唯一無二の体験です。航路とエクスカージョンは全て暫定的なものであり、天候、海、氷の状態に影響され変更されることがあります。エクスカージョンはまた、最小・最大人数によっても変更があり得ます。フッティルテン社は航路およびエクスカージョンの内容を予告なしに変更する権利を留保します(ご契約条件をご参照ください)。

### 健康質問書の提出義務

フッティルテン社の決まりとして、南極大陸、北東グリーンランド、北極圏カナダ、大西洋横断、北西航路をご旅行される乗客の皆様には健康申告書へご記入いただく必要があり、これには旅行に適していることを保証する医師の署名も必要です。この申告書は当社のウェブサイト上の申し込み要件の項目でダウンロードしていただけます。申告書は事前にご記入の上、ご乗船ください。乗船時にこの申告書をご提示いただけない場合、乗船をお断りすることがあります。フッティルテン社は乗船前に追加の健康申告書や質問書のご提出を、上記に記載されている旅行先以外でもお願いすることがあります。必要とされる医療診断書に関する最新のご案内は、当社のウェブサイトをご参照ください。

### 小型ボートでの上陸

頑丈な小型ボートは、他の方法ではアクセスできない場所での探検と安全な上陸の両方を可能にします。このボートへの乗船時には敏捷な動作が求められますが、乗務員が皆様に乗下船の方法をご案内しますので心配はご無用です。乗務員の指示に従えば、数回でその動作に慣れてしまうでしょう。小型ボートでの上陸時には、常にそれに適した履物をご着用ください。南極ではゴムブーツの利用が義務付けられています。南極以外の寄港地でもブーツは有用です。ご自身のブーツを持参されるか、船上でブーツの無料レンタルも可能です(事前にご確認ください)。

※全ページの記載内容は事前の予告なしに変更になる場合があります。

# 未来を担う クルーズラインとして フッティルーテンのできること

恒久的に探検(エクスペディション)と呼ばれる  
大自然の中を巡る旅を続けていくには、  
厳格なルールとグリーンテクノロジーが  
最大の鍵となるでしょう。  
フッティルーテンは  
世界のエクスペディションクルーズを  
牽引する良き見本となれるよう、  
サステナビリティをモットーに、自然環境に  
やさしいオペレーションを目指しています。

## インデックス

ご挨拶～探検を愛する仲間たちへ～	2～
海域紹介	4～
フッティルーテンについて	6～
新造船紹介	8～
南極の魅力と一日	12～
コース紹介 南極	14～
コース紹介 アイスランド	17
コース紹介 スヴァールバル	18～
コース紹介 グリーンランド	22～
コース紹介 北西航路	24～
コース紹介 アラスカ	26
コース紹介 南米	27
コース紹介 ガラパゴス諸島	28～
コース紹介 英国諸島	30～
コース紹介 ノルウェー	32～
クルーズカレンダー	34～
エクスペディションクルーズの魅力と 船上サービス一覧	36
シップインフォメーション MSフリチョフ・ナンセン MSロアール・アムンセン	37
シップインフォメーション MSフラム MSスピッツベルゲン	38
シップインフォメーション MSモード MSオットー・スヴェルドルupp MSノールスチャーネン MSサンタクルスII	39



## 探検を愛する仲間たちへ

これまでにない環境に配慮したサステナブルな船で、世界中でも最も美しいと称えられる海岸地域をご案内します。北極ではホッキョクグマを見つけ、南極では壮大な氷の世界を楽しみましょう。生涯忘れられないクルーズをお約束します。MSロアール・アムンセンやその姉妹船であるMSフリチョフ・ナンセンは、世界初のハイブリッド

動力のエクスペディションシップであり、この革新的なエネルギー効率を誇る船の誕生は、フッティルーテンの130年以上の歴史において偉大な節目となりました。グリーンテクノロジーは、我々の探求の成果として飛躍的に前進し、いまや環境汚染物質を排出しないエクスペディションクルーズが可能となりました。寄港地とその地理や歴史、生息す

る動物を熟知し、挑戦する探検について多くの情報を得るという事は非常に重要な要素です。全てのエクスペディションシップで基本設備となるサインエッセンスは、正にその目的の為にあります。ここでは、実践的な市民科学プロジェクトへの参加や、専門分野に詳しいエクスペディションチームによるレクチャーなど、有意義な時間を過ごすことになるでしょう。

このかけがえのない惑星を理解し、その体験を他の誰かと共有する素晴らしさは感動に値するでしょう。また、その素晴らしさを体験すればするほど、汚れなき自然を守るために立ち上がろうとより強く思えるでしょう。フッティルーテンが環境にやさしい燃料を使い、使い捨てプラスチックの使用を廃止するなど、船上でどのようにエコフレンドリーを実践しているかを直に

見ることで、普段の生活においても同じように心がけていこうと気付かされるかもしれません。自然を愛し、科学的に分析し深く知ることができる素晴らしい航海です。ため息の出るような美しい沿岸地域を巡り、現地の生活を学び、自然の中に生きる野生動物を観察しましょう。航海が終わる頃には、この世界に溢れる大自然の驚異に感動し、

きっと清々しい前向きな気持ちになっていることでしょう。そしてこの素晴らしい地球を守るためにできる限りの努力をしたいと思います。

皆様のご乗船を心から楽しみにお待ちしております。

フッティルーテン最高経営責任者  
ダニエル・A・シェルダム

## EXPECT THE UNEXPECTED

### ～予想せぬ出来事を楽しむ～

大自然はいつも予測不可能。  
これから起こる出来事に胸躍らせ、  
大自然に身をゆだねてみましょう。  
それこそが探検です。  
エクスペディションクルーズで  
探検の醍醐味を体験しましょう。

EXPLORE THE WORLD WITH US

# エクスペディションシップで 美しい地球を探検しましょう 海の向こうに広がる世界へ

## 南極

### 地の果てへの大冒険

アルゼンチン沖を南下し、南極半島を目指します。半島は南極大陸の中では比較的気候が温暖なため、各国の観測基地が置かれています。ペンギン、アザラシ、アシカ、クジラなど極地ならではの野生動物や驚異の生態系を間近にご覧いただけます。

## 北西航路&北極圏カナダ

### 伝説の探検家たちの航跡を訪ねて

ヨーロッパとアジアを北極圏経由で結ぶ北西航路。フッティルーテンではグリーンランドとカナダを片道約2週間かけてクルーズします。ホッキョクグマなどが生息する白い大陸と北の海の荘厳な景色をお楽しみいただけます。冬には幻想的なオーロラが出現する地域もクルーズします。

## スヴァールバル

### 最果ての神秘、究極の探検

「冷たい」を意味するスヴァールバル諸島は、北極圏にあるノルウェー領の群島です。島々の3分の2は年間を通して氷に覆われており多くが無人島ですが、17世紀には欧州列強が捕鯨船基地を置きました。ホッキョクグマ、セイウチ、ゼニガタアザラシなどの希少動物が保護されています。

## グリーンランド

### 光と影の際立つ美しい島

日本の6倍の面積を持つ世界最大の島グリーンランド(デンマーク)の人口は、わずかに6万人ほど。島の8割は氷と雪に覆われています。昔からこの地で暮らすバイキングやイヌイットの遺跡、アイスフィヨルドなどの世界遺産が存在する興味深い訪問地です。

## アイスランド

### 火と氷の神話の大地

地球の割れ目「ギャオ」があり、活発な火山活動の影響から島の各地で温泉が湧き出るアイスランドは、国名の「アイス」とは逆に「火の国」の別名があります。陸路では訪れることが難しい露天温泉、火山、間欠泉

など地球の息吹を感じることができる場所が多くあります。

## 北極圏横断

### まだ見ぬ美しい世界を訪ねて

見どころは荘厳で神々しい山々、迫りくる氷河、隠れ家のようなビーチ。エクスペディションクルーズでは、手つかずの大自然と素朴で魅力的な小さな村も訪ねます。厳しい自然環境の北極圏に生きる草花、野生動物に出会えるのも大きな魅力です。

## アラスカ

### 北の大地に残された最後のフロンティア

北極海を抜け抜けベーリング海峡を南下しアラスカ、カナダの太平洋沿岸地域をクルーズします。海に崩れ落ちる氷河や先住民エスキモー(イヌイット)の暮らしなど、異文化に触れる貴重な体験ができます。

## ノルウェー

### ノルウェー沿岸の真髄に触れる

スカンジナビア半島の西岸に広がる美しいフィヨルドと牧歌的な村、素朴な人々の暮らしが訪問客を魅了します。中には自然が生み出した驚異、200キロもの奥行きがあるフィヨルドも存在します。「世界でもっとも美しい船旅」と称される航路は、南北2400キロにも及び、南部だけの村を訪問するコース、南北にかけてノルウェーの田舎町を巡るコースなど多彩です。

## 北米

### 歴史深い街、誇り高き国

アメリカの東海岸の都市を寄港しながらマイアミまで南下します。ニューヨークなど大都市の魅力や、寒帯から亜熱帯に至る東海岸の自然の変遷ぶりなども楽しむことができます。

## カリブ海&中央アメリカ

### 絶海のトロピカルパラダイス

透き通った海にサンゴ礁が広がるカリブ海は、クルーズ発祥の地でもあります。宝石を散りばめたようなカリブの島々の間をエ

クスペディションシップが巡ります。島ごとに異なる文化や風土が楽しめるほか、温かい海ではスキューバダイビングなど様々なマリンスポーツにも挑戦できます。

## 南米

### 文明の輝きを探して

パナマ運河を通り太平洋側に抜けたのち、エクアドル、ペルー、チリへと南下します。ペルー各地に残されたアンデス文明の遺跡は必見です。インカ帝国の遺跡マチュピチュまで足をのびし、チリの海岸線の変化もお楽しみください。

## 英国諸島

### 荒々しさの残る自然美と歴史

スコットランドの絵のように美しい古城やバイキングの残した足跡を巡ります。エクスペディションチームの興味深いレクチャーでは、この地の歴史、文化、野生動物についても教えてくれます。自然と文化の資質が高く評価される世界遺産セントキルダを訪ね、ウィスキーの奥深さを堪能するコースもあります。

## ヨーロッパ

### 偉大なる都市と宝石のように光る隠れた名所

ドイツのハンブルクからスペインまで縦断するコースや、北欧諸国を周回するコースなど様々なコースが用意されています。一度訪れた街でも、フッティルーテンのエクスペディションクルーズで海から訪問すれば、趣の異なる魅力を再発見できるでしょう。

## ガラパゴス諸島

### 生物の進化の謎に触れる、唯一無二の場所

ダーウィンが進化論を唱え、今日では生態系のホットスポットとして自然を愛する人々の天国となっています。快適で小さな探検船サンタクルスIIで象徴的な野生動物や壮大な景観を目の当たりにしながら、一生に一度の体験が叶う探検航路。専門家である現地ガイドが同行し、この島が地球上で最も感動的な場所のひとつである理由を説明します。

## ガラパゴス諸島

## 南米

## 南極

## 北西航路&北極圏カナダ

## アラスカ

## グリーンランド&アイスランド

## 英国諸島

## ヨーロッパ

## 北極圏横断

## スヴァールバル

## ノルウェー

WHEN AND WHERE WE EXPLORE	CALENDAR 2023/2024											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
南極												
北西航路 & 北極圏カナダ												
スヴァールバル*												
グリーンランド												
アイスランド												
北極圏横断												
アラスカ												
北米												
カリブ海&中央アメリカ												
南米												
英国諸島												
ヨーロッパ												
ガラパゴス諸島												

\*Land Adventures on Svalbard all year round

エクスペディションクルーズの日程や航路の詳細は、公式サイト [hurtigruten.com](http://hurtigruten.com) でご覧いただけます。

# フッティルーテンの「6つのプライド」

# 未来につなげるサスティナブルな旅を

HERITAGE **1** EXPERT **2** AUTHENTICITY **3**

【歴史】 【専門性】 【本物志向】

## 130年以上の歴史が導く伝統と革新

最果て航路にスポットライトを当てた探検船の世界的先駆者。“世界で最も美しい船旅”と称されるノルウェー沿岸航路から、荘厳な大自然と共に進む北極、南極航路まで、独自路線で展開する幅広い船旅は圧倒的な存在感。

## 経験豊かなエキスパートチーム

生物、歴史、地理、地質、そして海洋学の分野にまで精通した経験豊富な専門チームによる情報満載の船上レクチャーと、寄港地の大自然や野生動物たちと触れ合うかけがえのない体験が知的好奇心を刺激します。

## 大自然の中、本物に触れる体験を

畏敬の念を抱かずにはられない荘厳な大自然、その中で生命を輝かせる野生動物たち。フッティルーテンがご案内するのは、洋上のベースキャンプから出発する本物に触れることができる探検です。

SUSTAINABLE **4** TECHNOLOGY **5** DINE & WINE **6**

【永続性】 【技術力】 【食彩】

## より良い環境と美しい地球を次世代へ

フッティルーテンが目指すのは、自然、動物、環境を守り、全ての人々に貢献できる会社であること。新しい技術やサービスを活用し、地球上全ての生命が永久に輝き続けられるよう努力を惜しみません。

## エコフレンドリーなハイブリッド探検船

最新技術を駆使し、安全性、居住性だけでなく環境にも配慮したエコフレンドリーな探検船。電気推進システムを採用した、環境に優しい世界初のハイブリッド燃料型探検船が誕生しました。

## ノルウェーの大自然の贈り物を船上の食卓へ

地元の農家や漁師から届けられる、旬の新鮮な食材を使ったノルウェーの特色あふれる料理を船上でお楽しみください。季節ごとになる地産地消のメニューを通して、ノルウェーの風土や食の文化を知りましょう。

(ノルウェー沿岸航路のみ)

フッティルーテンの歴史と伝統は、自然環境に配慮したサスティナブルな探検を実現することを大切に考えています。グリーンテクノロジーを活用し厳格な基準で自然を守ると共に、オーバーツーリズム問題に警鐘を鳴らし地元の人々の暮らしを支えます。

フッティルーテンは汚染廃棄物を排出しない運航を目指し、それを実現するために大切な一步一步を日々積み重ねています。また国連が採択した持続可能な開発目標に賛同し、もっとも自然にやさしい先進的なエクスペディションクルーズの実現を提唱します。



**BAN OF HEAVY FUEL**

重油の使用禁止  
10年前に船への重油使用を禁止しました。現在は世界に向けて重油使用の禁止を提唱しています。

**LESS PLASTIC**

32 TONS ↓

プラスチック削減  
使い捨てプラスチックの使用を控え、その代用品を使用することで、年間32トンのプラスチック削減を可能にしました。

**CLEAN-UPS**

ゴミの回収  
2018年以来、訪問地でごみを回収する活動にお客様をお誘いし、多くの方にご参加いただいております。これまでも数トンの海のゴミを回収したことを誇りとしています。

## PUSHING BOUNDARIES SINCE 1893 フッティルーテンの歴史

リカルド・ウィット船長  
ノルウェーの北と南を結ぶ蒸気船会社としてフッティルーテンを設立する。

初代フラム号  
フッティルーテンの元船長であった探検家オットー・スヴェルドルップの指揮で、初代のフラム号はグリーンランドと北極圏カナダへの二度目となる探検へ出発する。



ロアール・アムンセン  
ロアール・アムンセンとその仲間たちは、フラム号でロス海を横断し地理的南極点へ足を踏み入れた初の人類となる。



南極へ  
南極半島への探検クルーズを開始する。

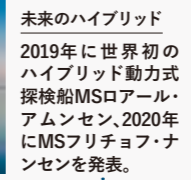
新MSフラム  
探検船MSフラムがグリーンランドへの処女航海に成功する。



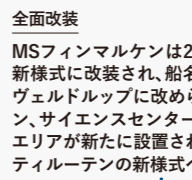
「気象クルーズ」  
北極圏についての知識を広げるため、スヴァールバルへの「気象クルーズ」を開始する。



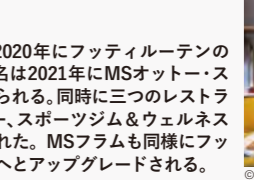
125周年  
創立125周年を迎え、船上と寄港地での使い捨てプラスチックの廃止を宣言する。



さらなる探検へ  
アラスカとカナダへの新しい探検クルーズを開始する。



新しい目的地  
英国領の島々やカリブ海、中央アメリカ、そしてヨーロッパへ向かう多彩な新コースを発表する。

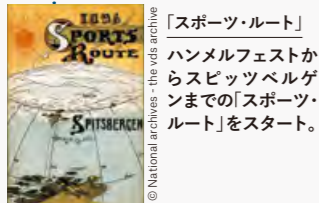


ノルウェー探検クルーズ  
新しいクルーズはドバー、ハンブルク、ベルゲンから始まり、厳選された見どころやノルウェーの知られざる名所へご案内する。



ガラパゴス諸島クルーズ  
MSサンタクルスIIによるガラパゴス諸島クルーズを開始

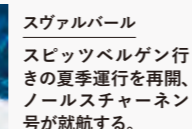
1893 — 1896 — 1898 — 1902-1906 — 1911 — 1994 — 2002 — 2007 — 2010 — 2018 — 2019 — 2020 — 2021 — 2022 — 2023 →



「スポーツ・ルート」  
ハンメルフェストからスピッツベルゲンまでの「スポーツ・ルート」をスタート。



北西航路  
ロアール・アムンセンが極地探検船ヨアア号で初めて北西航路を航行する。



スヴァールバル  
スピッツベルゲン行きの夏季運行を再開、ノールスチャーネン号が就航する。



MS ROALD AMUNDSEN & MS FRIDTJOF NANSEN

# エコフレンドリーな ハイブリッド探検船の誕生!

世界初・最新鋭の  
北欧スタイル

最新技術を駆使し環境に優しく居住性に優れた新造船、MSロアル・アムンセンとMSフリチョフ・ナンセンは、これまでの探検船にはなかった新しい魅力に溢れています。



## 3つのレストランで食を楽しみ、ノルウェー文化にも触れる

探検船の中とは思えない趣向を凝らした3つのレストランでは、多彩な料理を通して食の素晴らしさを知ることができます。豊かな風土が育んできた心温まる料理や、ノルウェーフレーバーが、船上のシェフの手で心を込めて用意されます。



SHIP CHANDLER  
**AUNE**  
MAIN DINING

### アウネ

朝、昼、晩と探検クルーズの活力を担う毎日の食事が用意されるメインダイニング。シェフ自ら湯気の立つ作り立ての料理を厨房から運びます。カジュアルでフレンドリーな雰囲気の中で美味しいお食事をお楽しみください。料理に関するご質問にもシェフは喜んで答えてくれます。



## 洋上のエンターテイメントで心と身体をリラックス

船上での楽しみ方は千差万別、十人十色。思い思いの過ごし方で充実した船上ライフをご満喫ください。この新しい両船には、水を通して大自然の中に溶け込む感覚が堪らない探検船初のインフィニティプールや2つのジャグジーも設置されています。サウナ好きならサウナ大国ノルウェーの本格的スチームサウナへ。大きなガラス越しに雄大な自然美を眺めながら寛ぎのひと時をお過ごしください。



エクスペローラーラウンジ、バー

展望デッキや素晴らしい眺望のエクスペローラーラウンジなど、ドリンク片手に居合わせた人達と知り合いになれる居心地の良いスペースもご用意。ラウンジは優美なスカンジナビア産の素材で仕上げられ、ノルウェーらしさ溢れる伝統的なデザインの調度品がゆったりと心から寛げる空間を演出しています。他にもジム、最上階のランニングトラック、スパのトリートメントルームなど、健康志向のお客様も納得の充実した施設が備わっています。



スパ  
© SVAI



LINDSTRÖM

### リンストロム

北極料理人としてその名の知られたノルウェー人シェフ、ヘンリック・アドルフ・リンストロムの名前が付けられたレストラン。彼の偉大なる人柄と料理の腕前がまたの北極探検を成功させたことは間違いありません。ワンランク上のスペシャリティレストランとして、彼の精神を受け継ぎ、ノルウェーテイストに触れるモダンで洗練されたお料理をご堪能ください。(予約制/有料) スイートにご宿泊のお客様は朝食や夕食レストランとして無料でご利用いただけます。



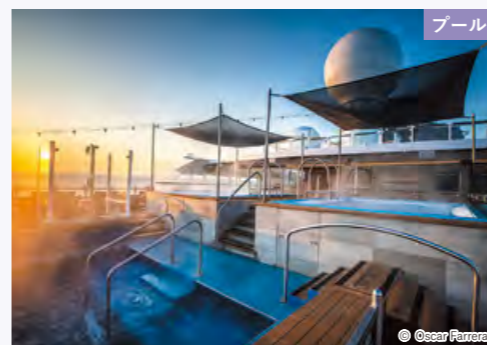
FREDHEIM

### フレドハイム

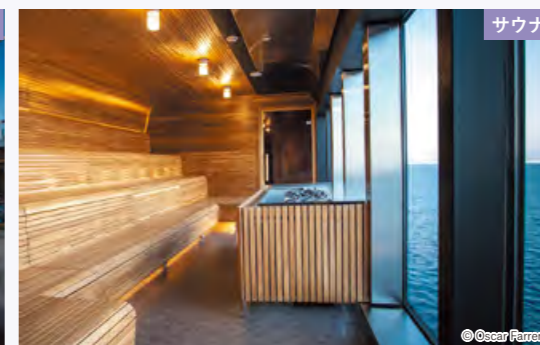
レストランとしてだけでなく、寄港地での体験を語り合ったり、明日の探検のミーティングをしたり、ご都合に合わせてご利用ください。いまや伝説とまで言われる極地にありながら温かい手料理で訪れる人々を魅了したスヴァールバールの狩猟ステーションから名前を付けました。心地よい雰囲気の中で多国籍料理をお楽しみください。



© AGURTXANE CONCELLON



プール



サウナ



ジム

フッティルーテンはノルウェーを代表する船会社として王室との関係が深く、ソニア女王が支援する芸術団体QSPAと提携しています。MSロアル・アムンセンとMSフリチョフ・ナンセンには、若い作家の作品やQSPAノミネート作品、受賞作品に加えてソニア女王の作品など、それぞれの船上に500点以上が展示されています。



© PONTUS HÖÖK/HURTIGRUTEN



リンストロム



ウェルネスセンター

DISCOVER THE DEEP  
Explore  
**探**

新しい発見に胸躍り好奇心を  
満足させるディープな探検



経験豊富なエクスペディションチームが乗船しています。彼らは歴史、文化、野生動物、地理、地質などそれぞれの分野に精通するエキスパートで、船内レクチャーやエクスカージョンのご案内をいたします。寄港地を何度も訪れ、その素晴らしさを熟知した彼らと共に、より奥深い体験を求める探検クルーズへ出かけましょう。



SCIENCE CENTER  
Learn  
**学**

最先端のサイエンスセンターで未知の世界を学ぶ

両船には時代の先を行くサイエンスセンターがあり、探検船ならではの学び知る喜びを教えてください。最先端の技術とインタラクティブな仕掛けが詰まったサイエンスセンターでは楽しみながら知識が身に付きます。



船上のエクスペディションチームは、寄港地に関する興味深いレクチャーを行い、歴史や地理、海洋学、生態学などの専門分野に関するご質問にもお答えします。

サイエンスセンターは洋上での学びの要ですが、フッティルテンの船上ではどこでも新しい知識を得るチャンスがあります。エクスペディションチームは、お客様がこのクルーズを最大限楽しめるよう努力を惜しみません。



CABINS & SUITES  
Sleep well  
**寛**

居心地の良い船上の我が家で  
英気を養い、明日の探検の夢を見る

真の居住性を追求した北欧スタイルのキャビンやスイートでぐっすりお休みください。全ての客室は海側に配置され、その50%以上に専用バルコニーが付いています。たっぷり一日探検を楽しんだ後に、心と身体をリラックスできる理想的な空間です。

細部にまでこだわり抜いた客室は、羊毛、花崗岩、オーク材やパイン材など、スカンジナビア産の伝統的な自然素材を多用し、居心地の良い調和の取れた雰囲気を醸し出しています。エクスペディションスイート、アークティックスーベリア、ポーラーアウトサイドの三つのカテゴリーからご自身の船上ライフスタイルに合わせてお選びいただけます。



エスプレッソマシン  
© Agurtxane\_Concellon



エクスペディションスイート

エクスペディションスイート

中高層階に位置するバルコニー付きのキャビンです。(一部を除く)。ツインベッドとダブルベッドの両方に対応しています。アームチェアまたはソファがごさいます。広めのバスルーム、バスローブ、エスプレッソマシン、ウェルカムギフト、無料のルームサービスなども用意され、一日の疲れを解きほぐすことのできるプライベートな空間です。



コーナースイート

コーナースイート

6部屋だけのコーナースイートでは、雄大な景色を眺めながら専用の屋外ジャグジーをお楽しみいただけます。



© Agurtxane\_Concellon



© Agurtxane\_Concellon



アークティックスーベリア

アークティックスーベリア

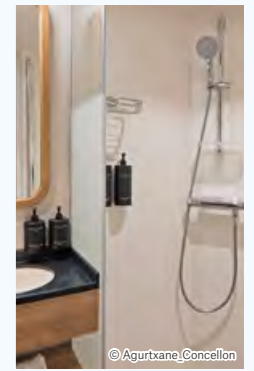
中高層階に位置するバルコニー付きのキャビンです(一部を除く)。ほとんどのキャビンがツインベッドとダブルベッドの両方に対応しており、アームチェアがあります。ダブルベッドのみのキャビンや、ソファのキャビンもあります。キャビン内に湯沸かしポットとコーヒー、紅茶セットをご用意しています。



ポーラーアウトサイド

ポーラーアウトサイド

低中層階に位置する窓付きの快適なキャビンです。ほとんどのキャビンがツインベッドとダブルベッドの両方に対応しており、アームチェアがあります。ダブルベッドのみのキャビンや、ソファのキャビンもごさいます。



© Agurtxane\_Concellon

シャワールーム

# 南極の魅力

世界中のここでしか味わうことのできない初めての体験を…

## 壮大な自然と触れ合うアクティビティ

エクスペディションチームが南極を体感できる様々な無料アクティビティのご案内します。大自然の中に新しい発見が輝く素晴らしい南極の一日をお楽しみください。

※有料のオプションツアーもございます。



カヤッキング



スノーシューイング



ハイキング



スモールボートクルージング



南極寒中水泳



キャンピング

サウスシェットランド諸島

クバービル島

ルメール海峡

ブロスベクトポイント  
フィッシュ島

ウェッデル海

エレラ海峡

ドレーク海峡

アイチー諸島

ハーフムン島  
ヤンキーハーバー  
ハナポイント

テレフォンベイ  
ホエラーズ湾

デセプション島

ミケルセンハーバー

ヒュルガロックス

メルキオニル諸島

オルネハーバー

ダモイポイント  
ジュグラポイント  
ポートシャルコー  
ブレノウ島

ダンコ島  
ネコハーバー

タレットポイント  
ペンギン島

フランス  
フィールド海峡

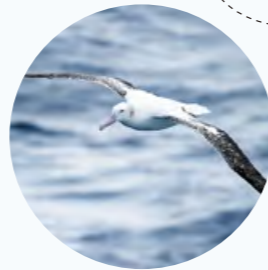
アンタークティックサウンド

キネスコープ/  
マダークリフ

ブラウンブラフ  
ポーレット島

エレファント島

サウスオークニー諸島



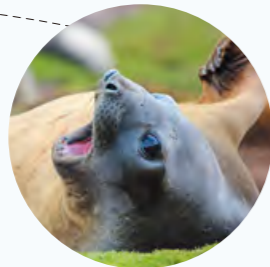
アルバトロス



クジラ

## 生命の輝きを放つ野生動物との出会い

南極は多種多様な生物の楽園です。白銀の世界に力強く生きるホッキョクグマやペンギンたち、大空を渡るキョクアジサシやトウゾクカモメ、海の中をのぞけばミクロの世界に生きるプランクトンから世界最大のシロナガスクジラまで、輝く生命が満ち溢れています。



アザラシ



ジェンツーペンギン

ペンギン



ACTIVITIES: © ANDREAS KALV IG ANDERSON/ANETTE ASBJORNROD/STEFAN DALL /STEFANDALL /STEFAN DALL /MARK MCDERMOTT/MAXIMILIAN SCHWARZ / WILDLIFE: © MARSEL VAN OOS TEN/FRANK JUKES - GUEST IMAGE /LINDA DRAKE/KARSTEN BIDSTRUP/ DAN & ZORA AVILA /KARSTEN BIDSTRUP/ANDREAS KALV IG ANDERSON/DO MINIC BARRINGTON

# 南極の一日



朝目覚めてから、夜眠りにつくまで  
大自然に興奮し、癒される特別な時間

午前6時~8時

一日の始まり  
朝食



© Agurtxane\_Cancellon



元気の出る美味しい朝食は活動的な一日を始める探検家たちに欠かせません。

午前9時

エクスペディション  
チームと一緒に  
寄港地へ出発



© Karsten Bidstrup



寄港地へ上陸する身支度を整えたらエクスペディションボートが待機しているテンドー乗り場で集合。上陸後はエクスペディションチームのご案内で見どころや野生生物を見学します。

午前11時

カヤックで探検、  
自然の中を  
ハイキング



© Dominic Barrington



カヤックに乗り、アザラシや鳥たち、ペンギンの棲む美しい南極の海を、まるで静かに滑っているかのような感覚をお楽しみください。上陸後はハイキングに参加し、更なる南極の驚異を発見しましょう。

午後1時半

美味しいランチ



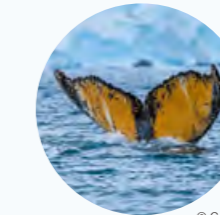
© Dominic Barrington



午前のアクティビティの後、お楽しみランチ。豊富なメニューからお選びいただけます。

午後4時半

小型ボートクルーズと  
クジラウォッチング



© Genna Roland



目の前に迫るクジラ、アザラシやペンギンがいる氷山の間をクルーズする忘れ難い体験です。

午後6時

船上レクチャーと  
市民科学プロジェクト



© Agurtxane\_Cancellon



南極のペンギンについての興味深いレクチャーや市民科学プロジェクトに参加。ペンギンの生息数をカウントし、研究者や科学者が野外で収集した大量のデータをふるいにかける有益なプロジェクトです。すべてのレクチャーは皆様のキャビンで直接再放送をご覧いただけます。

午後8時

ごちそう三昧



© Agurtxane\_Cancellon



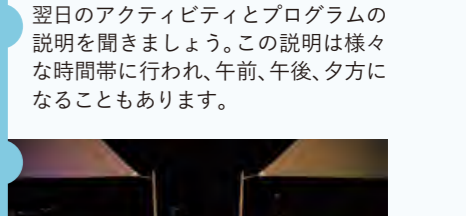
極上のディナーは、一日を締めくくり、仲間たちと今日の成果を共有する素晴らしい場となるでしょう。

午後9時

翌日の打ち合わせ



© Agurtxane\_Cancellon



翌日のアクティビティとプログラムの説明を聞きましょう。この説明は様々な時間帯に行われ、午前、午後、夕方になることもあります。

午後10時

リラックスタイム



© Dominic Barrington



南極での素晴らしい一日を夜の寛ぎの時間で締めくくります。バーでお酒を飲んでリラックスしたり、サウナや湯船に入ったり…

南極での一日の一例は主にMSロアル・アムンセンおよびMSフリチョフ・ナンセンでのクルーズについてご紹介しています。アクティビティやプログラムの内容は、天候や海の状況を含めた諸条件により、キャプテンとエクスペディションチームで決定します。

# 南極大陸

凍てつく大陸のハイライト

12  
日間



クバービル島



オルネハーバー

© Andreas Kalvig Anderson



ルメル海峡

© Arnau Ferrer



ウィルヘルミナ湾

© STEFAN DALL



ピーターマン島

© Gemma Barrington

耐氷性能PC6/1ASuperを誇るハイブリッドエンジン搭載のMSフリチョフ・ナンセンやMSロアル・アムンセンで、忘れられない探検に出かけましょう。南極での5日間の体験は、崇高なまでに美しい大自然、生命力溢れる野生動物の姿など感動的なシーンに溢れています。

## 寄港地の見どころ

### クバービル島

氷山が漂う海峡にある島で、ジェンツーペンギンの一大営巣地として知られています。海峡を埋め尽くすように浮かぶ氷山の壮大な姿は目を奪われる光景です。

### ウィルヘルミナ湾

古くはクジラ捕り達の豊かな漁場としてクジラやアザラシが捕獲されていました。今も岸壁に残る捕鯨船の残骸がその当時を思わせます。氷壁と氷山が作り出す絶景が見事です。

### ポートロックロイ

英国の最初の基地だった観光地で、郵便局や土産物店もあり、南極の消印の押された手紙を出すことができます。ジェンツーペンギンが建物のすぐそばで愛らしい姿を見せてくれます。

### ルメル海峡

幅1.6km、長さ11kmの狭い海峡の両岸には1000m級の山々が連なり、氷山が水面に映る絶景は『世界で最も美しい海峡』とも称されます。

### ネコハーバー

南極大陸でも数少ない上陸可能な場所の一つで、ジェンツーペンギンの営巣地を見ることができます。南極の高い氷山に囲まれています。

### パラダイスハーバー

氷河が流入する静かな湾。強風が吹き込まず波も穏やかな湾は、静かな海面に鏡のように氷山を映し、幻想的な風景を作り出しています。ジェンツーペンギンの営巣地もあります。

### ブラウンプラフ

100万年前の大噴火の溶岩が堆積した高さ約750mのブラウン・プラフ(茶色の断崖)の頂上は平らで、赤茶色をした凝灰岩の断崖が約11km続きます。雪山の白色とのコントラストに目を見張ります。

## 含まれるアクティビティ(例)

- 南極に関するレクチャー
- 上陸
- エクスペディションポートでクルーズ
- 写真撮影レクチャー
- 科学に関するイベント
- バードウォッチング

## オプションエクサカーション(例)

- キャンプアムンセン・ナイト
- カヤック
- スノーシュー

※エクサカーションに関する詳しい情報は [hurtigruten.com](http://hurtigruten.com) でご確認ください。



ウィルヘルミナ湾

© Karsten Bidstrup

●料金(お一人様) **€6,318**~(コース共通)

出発日	2023年12月28日 2024年3月9日、11月17日、27日、12月4日、7日、17日、27日 2025年1月6日、16日、26日、2月5日、15日、25日、28日、3月7日、10日	2023年11月12日、22日、12月2日、12日、22日 2024年1月1日、11日、2月6日、16日、26日、3月7日
船名	MSロアル・アムンセン	MSフリチョフ・ナンセン
スケジュール	ブエノスアイレス→ウシュアイア→ドレイク海峡→南極大陸→ビーグル海峡→ウシュアイア→ブエノスアイレス	

※都市間移動が飛行機移動の場合 ▶ ※クルーズ船以外で宿泊がある場合 ▶

# 南極大陸、 フォークランド諸島探訪

16  
日間



スタンリー

© Espen Mills



ウィルヘルミナ湾

© Karsten Bidstrup



エクサカーション(ルメル海峡)

© Arnau Ferrer



エクスペディションチームと探検

© BAN & ZORA AVILA



ハーフムーン島

© Andrea Klausner

白亜の大陸に生息するクジラやペンギンなどの野生動物観察や大迫力の氷の世界など、壮大な南極大陸の魅力をお楽しみいただけます。フォークランド諸島の港町ポートスタンリーにも寄港し英国風の街並みもご覧いただけます。

## 寄港地の見どころ

### ウィルヘルミナ湾

古くはクジラ捕り達の豊かな漁場としてクジラやアザラシが捕獲されていました。今も岸壁に残る捕鯨船の残骸がその当時を思わせます。氷壁と氷山が作り出す絶景が見事です。

### フォークランド諸島

大小700の島々から成り立つイギリス領。世界有数のペンギンの繁殖地としても知られます。東フォークランド島の東端に位置する港町スタンリーには、英国風パブ、美しい庭園、戦争記念碑など魅力的なスポットが溢れます。

### デセプション島

火山の影響で地熱が高く、南極では珍しく地表がむきだしで温泉が湧くことでも有名。アゴヒゲペンギン、南極オットセイなどが生息しています。

### ハーフムーン島

切り立った岸壁はアゴヒゲペンギンの一大営巣地で、南極アジサシ、ケルブカモメ、ウミツバメなどの海鳥や数種類のアザラシも見ることができます。



© BAN & ZORA AVILA

### クリスタルサウンド

浮遊する氷山や雪に覆われた山々が美しい南極大陸とアデレード島の間の海峡。氷の結晶の研究のために科学者が使用していることからこの名が付けられました。

### ペノラ海峡

長さ20km、幅3.7kmのこの海峡を進めば、豊富な餌を求め集まるザトウクジラなど多くの野生生物に出会うことができます。



© Yuri Mitsuo Shoutou

## 含まれるアクティビティ(例)

- 南極に関するレクチャー
- 上陸
- エクスペディションポートでクルーズ
- 写真撮影レクチャー
- 科学に関するイベント
- バードウォッチング

## オプションエクサカーション(例)

- シーニックフライトツアー
- ポートスタンリーの見どころ
- フォークランドの自然トレッキング
- ブラフコブラグーンツアー
- カヤック
- シュースノー

※エクサカーションに関する詳しい情報は [hurtigruten.com](http://hurtigruten.com) でご確認ください。

●料金(お一人様) **€7,578**~

出発日	2023年11月2日、16日、30日、12月14日、2024年2月24日、11月6日、20日、12月14日、28日
船名	MSロアル・アムンセン
スケジュール	ブエノスアイレス→ウシュアイア→ドレイク海峡→南極大陸→フォークランド諸島→ウシュアイア→ブエノスアイレス

※都市間移動が飛行機移動の場合 ▶ ※クルーズ船以外で宿泊がある場合 ▶



# 南極圏の探検

18  
日間



ネコハーバー  
© Marsel van Oosten



マーガレット湾

© Gian-Rico Willy



マーガレット湾

© Gian-Rico Willy



マーガレット湾

© Gian-Rico Willy

※環境保護を目的とした南極の規制により、訪れる船の少ないマーガレット湾まで南下することを目的としたコースですが、天候、その他状況により本来予定していた航路が変更になることもございます。

夏真っ盛りの南極から晩夏にかけて訪れるたっぷり11日間の南極体験では、生まれたペンギンが大人へと成長し、様々な種類のクジラが豊富なオキアミを餌とする瞬間をご覧ください。南極圏をさらに南へ舵を取り、訪れる船もほとんどないマーガレット湾へ航路を進めましょう。

## 寄港地の見どころ

### マーガレット湾

1909年に発見したフランス人探検家の妻の名から付けられました。皇帝ペンギンの生息地であるマーガレット湾は環境保護のため訪れる船が限られている上、通常の南極クルーズでは南極圏を超えて南下することはほとんどありませんので、特別な探検の醍醐味を感じられること間違いなしです。



© Stefan Dall

### アデレード島

マーガレット湾の北側にある大部分が氷に覆われた島です。英国王ウィリアム4世の妻の名前から付けられました。島の沿岸には数多くのアデリーペンギンの営巣地があります。

### ポートシャルコー

棚氷から流れてくる氷山が座礁し南極らしい壮大な光景が広がります。自然繁殖するジェンツーペンギン、アゴヒゲペンギン、アデリーペンギンなどが見られます。

### クリスタルサウンド

浮遊する氷山や雪に覆われた山々が美しい南極大陸とアデレード島の間の海峡。氷の結晶の研究のために科学者が使用していることからこの名が付けられました。

### オルネハーバー

付近はアゴヒゲペンギンの巨大な営巣地になっており、季節になると海岸線沿いに可愛らしい雛が見られます。白銀のパノラマが広がる絶景ポイントも見逃せません。

### ペノラ海峡

長さ20km、幅3.7kmのこの海峡を進めば、豊富な餌を求め集まるザトウクジラなど多くの野生生物に出会うことができます。



© Dominic Barrington

## 含まれるアクティビティ(例)

- 南極に関するレクチャー
- 上陸
- エクスベディションボートでクルーズ
- 写真撮影レクチャー
- 科学に関するイベント
- バードウォッチング

## オプションエクサカーション(例)

- カヤック
- スノーシュー

※エクサカーションに関する詳しい情報は [hurtigruten.com](http://hurtigruten.com) でご確認ください。



© Gettyimages

● 料金(お一人様) **€8,978**~

出発日(船名)	2024年1月7日、23日、2月8日、2025年1月11日、27日、2月12日 (MSロアル・アムンセン)
スケジュール	ブエノスアイレス→ウシュアイア→ドレイク海峡→南極大陸→マーガレット湾→ビーグル海峡→ウシュアイア→ブエノスアイレス

※都市間移動が飛行機移動の場合 ▶ ※クルーズ船以外で宿泊がある場合 ▶

# アイスランド周遊

エルフとサガ神話、火山の大地

9  
日間

Aコース

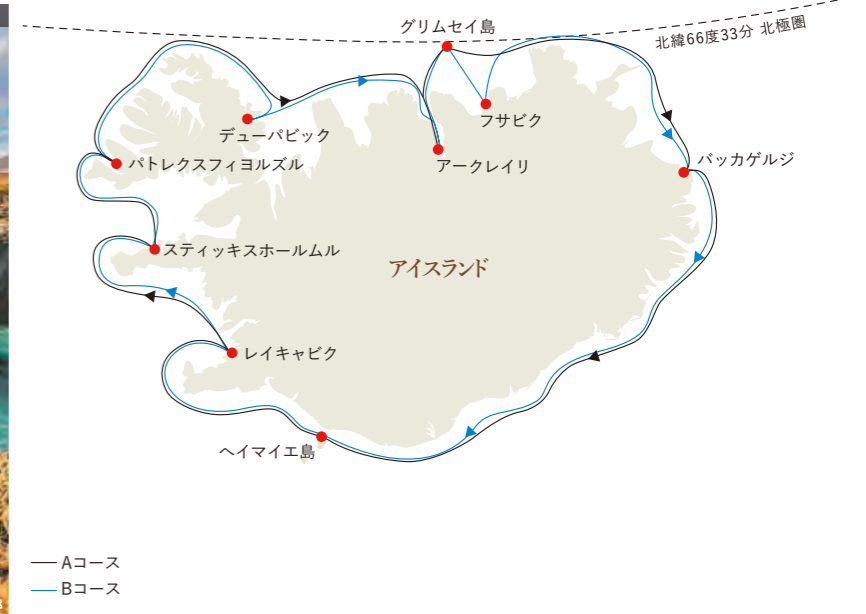
11  
日間

Bコース



ゴザフォスの滝

© Shutterstock



— Aコース  
— Bコース



間欠泉(レイキャビク)

© NATALIA KABLUK/SHUTTERSTOCK



グリムセイ島

© Esther Kokmair



パフィン(バックゲルジ)

© ANDREA KLAUSSNER

火山と氷河の国アイスランド。火山、巨大な滝、断崖絶壁やフィヨルドの海岸線など、地球の息吹を感じるダイナミックな大自然が広がる島です。妖精伝説や神話も残るこの島を周遊し、その魅力を余すところなくご案内します。

## 寄港地の見どころ

### レイキャビク

人口の60%以上が集中する世界最北の首都。「煙たなびく湾」が語源と言われます。1986年「冷戦の終わりの始まり」、レーガンとゴルバチョフの会談が行われたのもこの街です。

### スティックスホルムル

ダイナミックな溶岩台地や氷河の風景が美しく、地形の変化に富むスナイフェルス半島の港町です。異国情緒溢れる街の散策や半島探訪ツアーをお楽しみください。

### パトレクスフィヨルズル

まるで絵画のように美しいフィヨルドに囲まれた閑寂な世界の中に、ヨーロッパ最西端のこの村があります。散策やハイキングでその趣をご体感ください。

### アークレイリ

この国第二の街で「アイスランドで最も美しい街」とも称えられています。ミーヴァトン湖や「神々の滝」を意味するゴザフォスの滝観光の玄関口でもあります。

### グリムセイ島

北緯66度33分、北極線にあるアイスランド最北端の島。

北極圏線をまたいでフォトジェニックな写真を撮ることのできる珍しい機会も楽しみます。

### バックゲルジ

その美しい自然美が殊に名高く「妖精たちの住む場所」と讃えられています。数多の野鳥の聖地でもあり、愛くるしいパフィンにも出会うかもしれません。

### ヘイマイエ島

ウエストマン諸島で唯一人の定住する漁業の島。この小さな漁村を襲った1973年の割れ目噴火は「現代のポンペイ」と評され世界的に有名です。島民は総出で港を守り抜きました。

## 含まれるアクティビティ(例)

- 訪問地に関するレクチャー
- 写真撮影レクチャー
- 科学に関するイベント
- バードウォッチング
- 簡単な散策/ハイキング

## オプションエクサカーション(例)

- ミーヴァトン湖観光
- 隠れた名所巡り
- アークレイリで乗馬体験
- ヘイマイエ島観光
- ヘイマイエ島でボートツアー
- クジラやパフィンの観察
- ペルサーク溶岩台地のハイキング
- スナイフェルス半島観光
- 洞窟、クレーター、入り江観光
- カヤック

※エクサカーションに関する詳しい情報は [hurtigruten.com](http://hurtigruten.com) でご確認ください。



スティックスホルムル

© Karsten Bidstrup

● 料金(お一人様) **€3,592**~

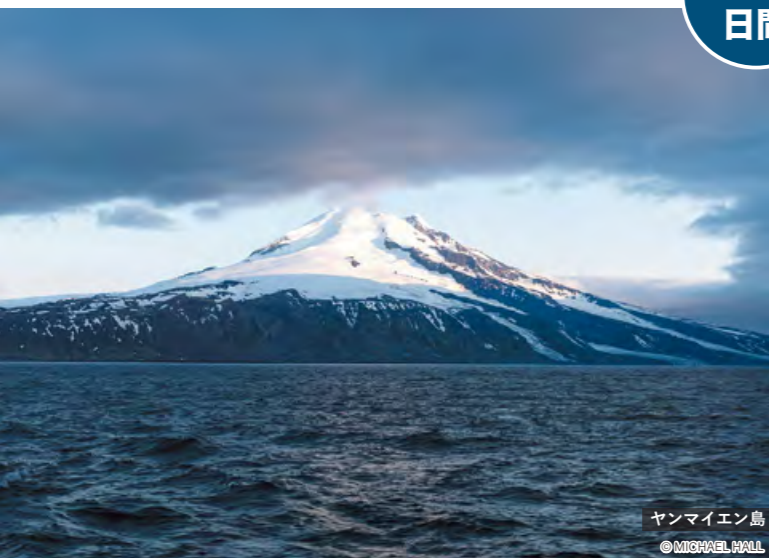
● 料金(お一人様) **€4,152**~

出発日	【Aコース(9日間)】 2024年5月16日、24日、6月1日	【Bコース(11日間)】 2024年5月9日、19日、8月1日
船名	MSフリチョフ・ナンセン	MSフラム
スケジュール	レイキャビク→スティックスホルムル→パトレクスフィヨルズル→北西アイスランド→アークレイリ→北極圏通過/グリムセイ島→バックゲルジ→ヘイマイエ島→レイキャビク	レイキャビク→スティックスホルムル→パトレクスフィヨルズル→北西アイスランド→デュバビク→アークレイリ→北極圏通過/グリムセイ島→フサビク→バックゲルジ→ヘイマイエ島→レイキャビク

# スピッツベルゲン島、ヤンマイエン島、アイスランド

## 北極圏の島発見

10日間



ヤンマイエン島 ©MICHAEL HALL



ロンギヤービーエン ©Shutterstock



スピッツベルゲン ©Arman Fener



ホッキョクグマ ©Tori Hogan

### 含まれるアクティビティ(例)

- 訪問地に関するレクチャー
- 写真撮影レクチャー
- 科学に関するイベント
- バードウォッチング

### オプションエクスカーション(例)

- アーケレイリの隠れた名所巡り
- アーケレイリで乗馬体験
- アーケレイリでミーヴァトン湖観光
- パトレクスフィヨルズルの見どころ巡り
- パトレクスフィヨルズルでラトラビャルクの崖観光
- スティッキスホルムルでベルサーク溶岩台地のハイキング
- スティッキスホルムルで洞窟、クレーター、入り江観光
- スティッキスホルムルとスナイフェルス半島観光
- カヤック

※エクスカーションに関する詳しい情報は [hurtigruten.com](http://hurtigruten.com) でご確認ください。



スティッキスホルムル ©Karsten Bidstrup

●料金(お一人様) **€3,958**~

スヴァルバルにてホッキョクグマを探し、絶海の孤島ヤンマイエン島を訪問、「緑の大地」アイスランドでは野鳥や滝も見学します。北極海を取り巻く変化に富んだ個性豊かな島々を巡り、高緯度北極圏の孤島の自然美や悠久の歴史文化を肌で感じましょう。

### 寄港地の見どころ

#### ヤンマイエン島

標高2277メートル、山頂に雪を頂く世界最北端の活火山ペーレンベルグ山が象徴的な火山島。この島を訪問するクルーズは極めて稀で、北極海に浮かぶこの絶海の孤島を訪れることができるのは、最果て航路に130年以上に渡り着目してきたフッティルテンでクルーズされるお客様ならではの特権です。

#### アーケレイリ

首都レイキャビクに次ぐ第二の街で「アイスランドで最も美しい街」と称えられています。ミーヴァト

ン湖や「神々の滝」を意味するゴザフォスの滝観光の玄関口でもあります。

北西スピッツベルゲン国立公園 多くの島々やフィヨルドが点在しており、探検の歴史そのものでもあります。ホッキョクグマを求め多くの鯨猟師がヨーロッパから訪れました。



©Shutterstock

#### グリムセイ島

北緯66度33分、北極線上にあるアイスランド最北端の島。北極圏線をまたいでフォトジェニックな写真を撮ることでできる珍しい機会も楽しめます。

#### パトレクスフィヨルズル

まるで絵画のように美しいフィヨルドに囲まれた閑寂な世界の中に、ヨーロッパ最西端のこの村があります。散策やハイキングでその趣をご体感ください。

#### スティッキスホルムル

ダイナミックな溶岩台地や氷河の風景が美しく、地形の変化に富むスナイフェルス半島の港町です。異国情緒溢れる街の散策や半島探訪ツアーをお楽しみください。

出発日	2024年5月29日
船名	MSフラム
スケジュール	レイキャビク→スティッキスホルムル→パトレクスフィヨルズル→アーケレイリ→グリムセイ島→ヤンマイエン島→北西スピッツベルゲン国立公園→ロンギヤービーエン→オスロ

※都市間移動が飛行機移動の場合▶ ※クルーズ船以外で宿泊がある場合▶

# フェロー諸島、アイスランド、スピッツベルゲン島

## 北極圏内と周辺の島巡り

14日間

北行き 南行き



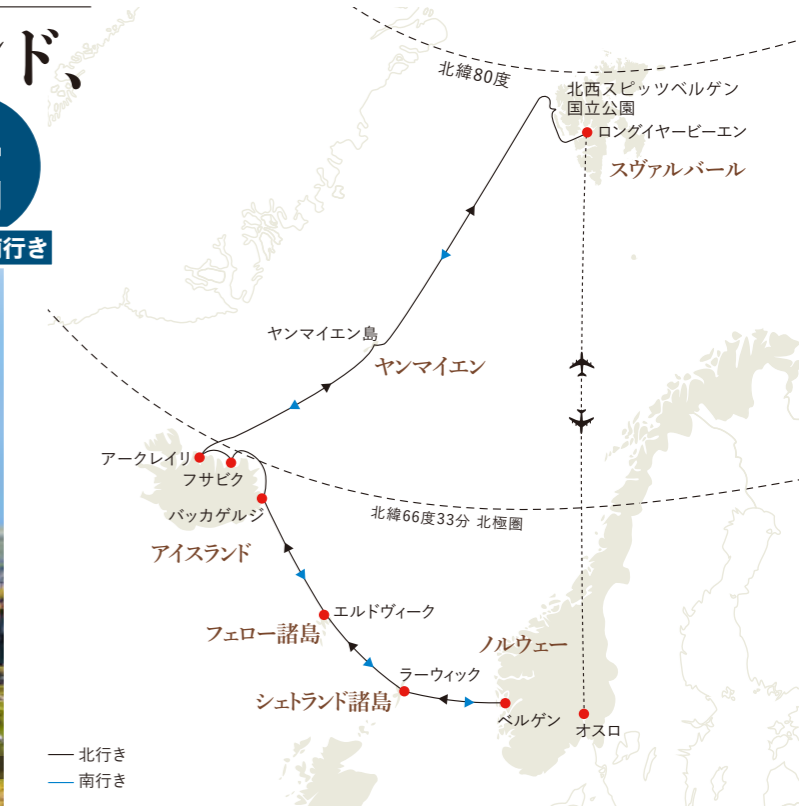
ラーウィック(シェトランド諸島) ©Karsten Bidstrup



エルドヴィーク ©Shutterstock



Þakkagerði ©Karsten Bidstrup



— 北行き  
— 南行き



©Hurtigruten

### 含まれるアクティビティ(例)

- 訪問地に関するレクチャー
- 写真撮影レクチャー
- 科学に関するイベント
- バードウォッチング

### オプションエクスカーション(例)

- アーケレイリの隠れた名所巡り
- アーケレイリで乗馬体験
- アーケレイリでミーヴァトン湖観光
- フサビクのダイヤモンドサークルツアー
- フサビクのクジラとパフィン見学
- ラーウィックで古城見学とボニー体験
- ラーウィックでイェールホフとホスヴィック観光
- ラーウィックでムーサー観光
- カヤック

※エクスカーションに関する詳しい情報は [hurtigruten.com](http://hurtigruten.com) でご確認ください。

極北地方への玄関口ノルウェーを起点に、スヴァルバル諸島や「絶海の孤島」ヤンマイエン島、アイスランド、フェロー諸島やシェトランド諸島を巡ります。通常の旅では一度で訪れることは難しい、北極圏のハイライトを網羅する極北クルーズ決定版ともいえるコースです。

### 寄港地の見どころ

#### 北西スピッツベルゲン国立公園

多くの島々やフィヨルドが点在しており、探検の歴史そのものでもあります。ホッキョクグマを求め多くの鯨猟師がヨーロッパから訪れました。

#### フェロー諸島(エルドヴィーク)

デンマークの自治領であり、通常のクルーズでは訪れる機会の少ない「ヨーロッパの秘境」フェロー諸島を訪問します。「最果ての村」エルドヴィーク村の牧歌的な雰囲気をご満喫ください。

#### フサビク

漁業の盛んな街フサビクは、ヨーロッパを代表するホエールウォッチングの聖地です。近隣の海域には珍しい地球最大の生物、巨大なシロナガスクジラをはじめ、23種に及ぶクジラが生息しています。

#### シェトランド諸島(ラーウィック)

英国スコットランドの北部諸島を構成する諸島の1つ。西は大西洋、北は北海に面しています。シェトランド諸島の玄関口で最大の都市、ニシンの良港として名高いラーウィックでの滞をお楽しみください。

#### Þakkagerði

その美しい自然美が殊に名高く「妖精たちの住む場所」と讃えられています。数多の野鳥の聖地でもあり、愛くるしいパフィンにも出会えるかもしれません。



寒中水泳(イメージ) ©Karsten Bidstrup



スヴァルバル ©Nina Helland

●料金(お一人様) **€4,758**~

●料金(お一人様) **€5,018**~

出発日	【北行き】2024年6月1日	【南行き】2023年9月23日、2024年9月11日
船名	MSスピッツベルゲン	MSスピッツベルゲン
スケジュール	ベルゲン→シェトランド諸島(ラーウィック)→フェロー諸島(トースハウン/エルドヴィーク)→Þakkagerði→フサビク→アーケレイリ→ヤンマイエン島→北西スピッツベルゲン国立公園→ロンギヤービーエン→オスロ	オスロ→ロンギヤービーエン→北西スピッツベルゲン国立公園→ヤンマイエン島→アーケレイリ→フサビク→Þakkagerði→フェロー諸島(エルドヴィーク/トースハウン)→シェトランド諸島(ラーウィック)→ベルゲン

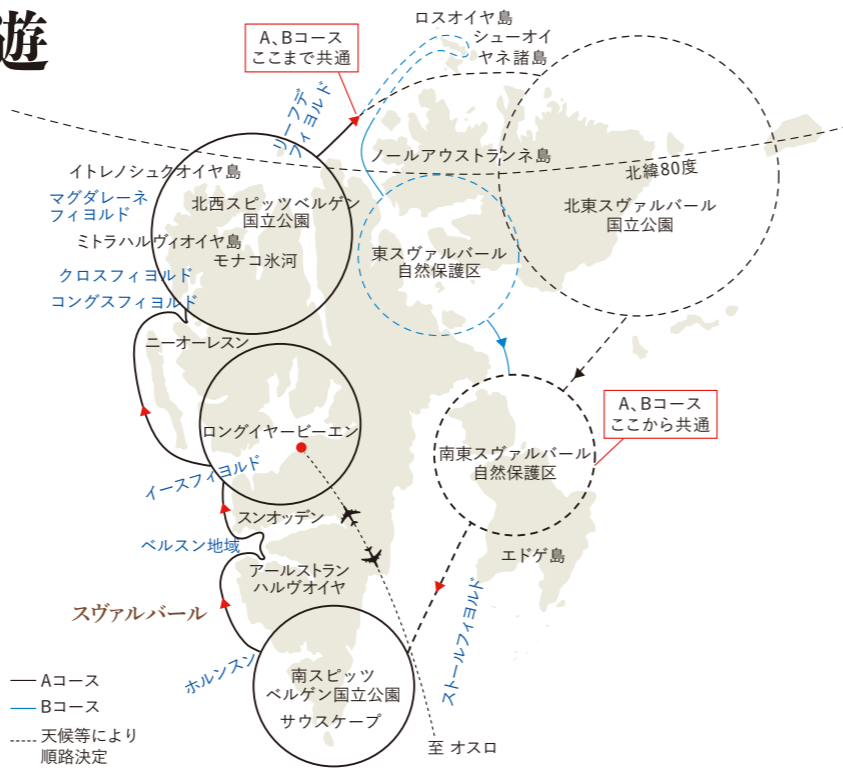
※都市間移動が飛行機移動の場合▶

# スヴァールバル諸島周遊

究極の探検 **12日間** Aコース  
 ホッキョクグマの王国 **10日間** Bコース



ホッキョクグマ © Hans Henrik Nilssen



— Aコース  
 — Bコース  
 ..... 天候等により  
 順序決定



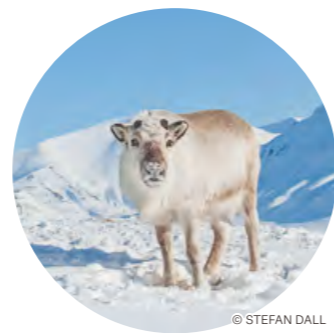
カヤック(マグダレーネフィヨルド)



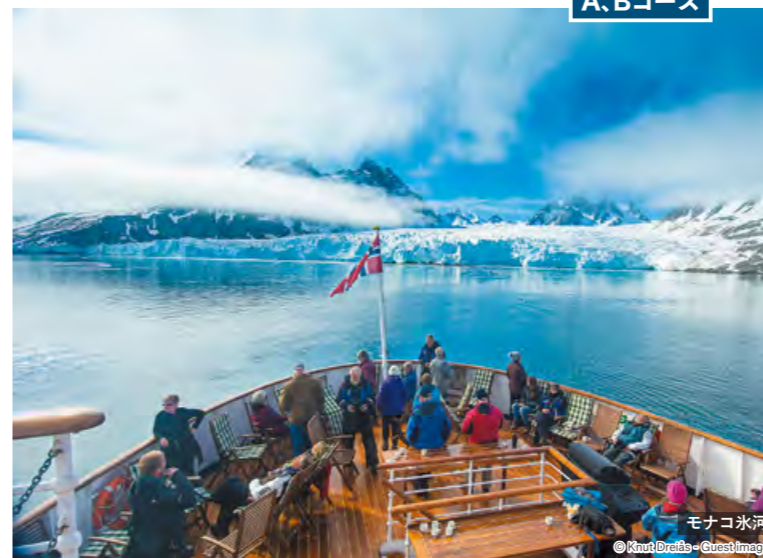
モナコ氷河



スピッツベルゲン



© STEFAN DALL



モナコ氷河 © Knut Bråten - GuestImage



コングスフィヨルド



コングスグリーン氷河



モナコ氷河



— Aコース  
 — Bコース

北極点までわずか1,200km、地球の最北の果てにあるスヴァールバル諸島では、ここにしか存在しない迫力ある極北の大自然を体感することができます。アンデルセンの童話「雪の女王」では、雪の女王の宮殿のある場所とされています。

## 寄港地の見どころ

### ロングイヤービーエン

スヴァールバル諸島の玄関口であり、行政・農業・鉱業・北極圏研究の中心地でもあります。土産物店では極北地の名産を探ることができます。

### 北西スピッツベルゲン国立公園

多くの島々やフィヨルドが点在しており、探検の歴史そのものでもあります。ホッキョクグマを求め多くの鯨猟師がヨーロッパから訪れました。

### 東スヴァールバル自然保護区

「北極の王」とも称えられるホッキョクグマが最も多く生息している地域。トナカイやセイウチ、海鳥など多種多様な野生動物の出会いも楽しみです。

### 南スピッツベルゲン国立公園とベルスンエリア

流氷が海を埋め尽くし、氷が風景を支配する極北ならではの絶景を心ゆくまで楽しみください。ホルンズン、ベルスンも航海します。

### イースフィヨルド

切り立った渓谷、荒々しいフィヨルド、そして息を飲むような壮大な氷河の絶景。スヴァールバル諸島を象徴するかのよう風景に出会えます。



リーフデフィヨルド © Jan Hvizdal

## 含まれるアクティビティ(例)

- 訪問地に関するレクチャー
- 上陸
- 短時間の散策やハイキング
- 写真撮影レクチャー
- 科学に関するイベント
- バードウォッチング

## オプションエクサカーション(例)

- 氷河ツアー
- カヤック

※エクサカーションに関する詳しい情報は [hurtigruten.com](http://hurtigruten.com) でご確認ください。



© Competition

● 料金(お一人様) **€6,592**~

● 料金(お一人様) **€6,192**~

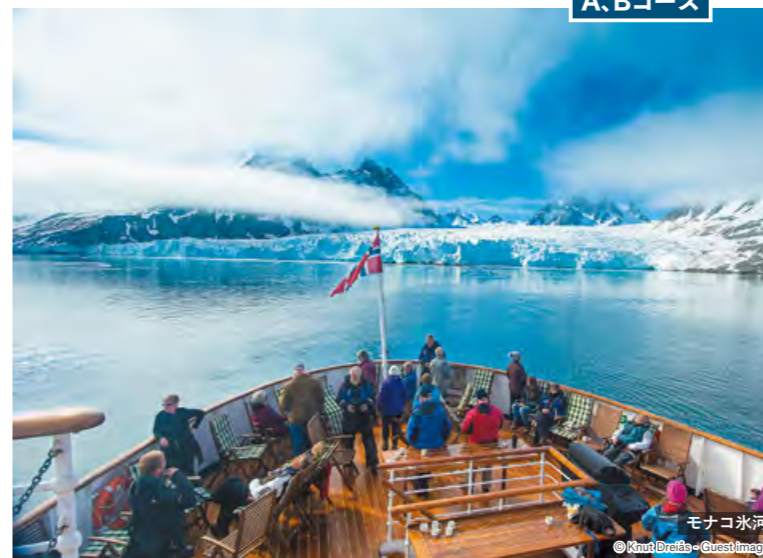
出発日(船名)	[Aコース(12日間)] 2024年7月8日(MSフラム) 2024年7月23日、8月2日、12日、22日、9月1日(MSスピッツベルゲン)	[Bコース(10日間)] 2024年6月6日、13日、21日、29日、7月7日、15日(MSスピッツベルゲン)、2024年6月14日、22日、30日(MSフラム)
スケジュール	オスロ→ロングイヤービーエン→北西スピッツベルゲン国立公園→北東スヴァールバル国立公園→南東スヴァールバル自然保護区→南スピッツベルゲン国立公園とベルスン→イースフィヨルド→ロングイヤービーエン→オスロ	オスロ→ロングイヤービーエン→北西スピッツベルゲン国立公園→東スヴァールバル自然保護区→南東スヴァールバル自然保護区→南スピッツベルゲン国立公園とベルスン→イースフィヨルド→ロングイヤービーエン→オスロ

※都市間移動が飛行機移動の場合 ▶ ※クルーズ船以外で宿泊がある場合 ▶

# スピッツベルゲン島とホッキョクグマ

## 北極圏の冒険

**6日間**  
A, Bコース



モナコ氷河 © Knut Bråten - GuestImage



コングスフィヨルド



コングスグリーン氷河



モナコ氷河

スヴァールバル諸島最大の島がスピッツベルゲン。1596年、探検家ウィリアム・バレンツにより発見されたクジラの楽園ともいえるこの島には多くの鯨猟師が集まりました。大自然と動植物の織りなす壮大なドラマと共に、悠久の歴史ロマンを感じることができるでしょう。

## 寄港地の見どころ

### リーフデフィヨルド

「愛のフィヨルド」を意味するこのフィヨルドはモナコ氷河から崩れ落ちた流水が海面に浮かび、北極圏でしか味わうことのできない壮麗な空気が流れます。

### ニーオーレスン

ニーオーレスンは世界で最も北に位置する学術の街として知られており、アムンセンが北極点への飛行に出発した地でもあります。

### コングスフィヨルド

壮大なコングスフィヨルドをクルーズしていると、そそりたつ岩壁に雪を頂く三連の名峰「3つの王冠」が忽然とその雄姿を現します。

### マグダレーネフィヨルド

ギザギザの山頂が続き、その間を氷河が海に流れ込む北極の絶景が印象的。最もスピッツベルゲンらしい風景ともいえる場所です。

### モナコ氷河

青白く輝く巨大な氷河の全面が海に迫り出し、迫力ある景観をつくりだしています。轟音とともに氷河が海に落ちる崩落の瞬間に出会えるかもしれません。

### モフェン

北緯80度に位置するモフェン島、北極点まではあとわずか1,000km程です。ここは北極圏屈指のセイウチのコロニーとしても知られています。



© Amaul Ferrer

## 含まれるアクティビティ(例)

- 訪問地に関するレクチャー
- 上陸
- バードウォッチング
- 短時間の散策やハイキング

※エクサカーションに関する詳しい情報は [hurtigruten.com](http://hurtigruten.com) でご確認ください。



© Shutterstock

● 料金(お一人様) **€1,723**~

● 料金(お一人様) **€1,640**~

出発日	[Aコース](水曜日出発月曜日帰着) 2023年6月7日、14日、21日、28日、7月5日、12日、19日、26日、8月2日、9日、16日、23日、30日 ※2024年の出発日はお問い合わせください。	[Bコース](日曜日出発金曜日帰着) 2023年6月4日、11日、18日、25日、7月2日、9日、16日、23日、30日、8月6日、13日、20日、27日 ※2024年の出発日はお問い合わせください。
船名	MSノールスチャーネン	MSノールスチャーネン
スケジュール	ロングイヤービーエン→イースフィヨルド→マグダレーネフィヨルド&ノースウエストコーナー→ウッドフィヨルド&リーフデフィヨルド→コングスフィヨルド&ニーオーレスン→ロングイヤービーエン	ロングイヤービーエン→イースフィヨルド→マグダレーネフィヨルド&ノースウエストコーナー→コングスフィヨルド&ニーオーレスン→イースフィヨルド→ロングイヤービーエン

※クルーズ船以外で宿泊がある場合 ▶

# ディスコ湾

グリーンランドの中心

16  
日間



ジャコウウシ



イルリサットアイスフィヨルド



カヤッキング



イルリサット

世界最大の島グリーンランド。島の8割以上が氷で覆われ、海岸線には深く刻み込まれたフィヨルドが続きます。巨大な氷河や氷山とツンドラ大地の緑、カラフルな家々など、世界で類を見ないダイナミックな風景に出会うことができます。

### 寄港地の見どころ

#### カコトック

フィヨルドの丘陵地にたたずむ「グリーンランドで最も美しい街」。カラフルな家並みや親しみやすい人々、絵画のような自然美をご満喫ください。

#### グヴァネフィヨルド

緩やかに湾曲したフィヨルドを更に奥へ奥へと進みます。ハイキングやカヤック、ボート遊覧など大自然との触れ合いが楽しめます。

#### イルリサット

グリーンランド語で「氷山」という意味を持つ街。その名の通り氷河から崩落した氷山が押し寄せ、幻想的かつ神秘的な世界に出会えます。

#### ヌーク

デンマーク領グリーンランドの首都であり、最も歴史ある街でもあるヌーク。伝統と現代が出会う街の雰囲気を存分にお楽しみください。

#### マニートソック

地名の由来は、岩山の多い「でこぼこの場所」という意味。その一方、自然の運河が町中に流れる景観は「グリーンランドのベニス」として知られています。

#### シシミウト

かつては捕鯨の街として栄えたシシミウト。カラフルな建物が海沿いに並び、チャーミングな雰囲気が旅人の心を和ませてくれます。

#### イビッツート

数千年前に訪れたノルマン人がグリーンランドで最後に定植した地と考えられています。現在は動物たちが穏やかに草をはんでいます。

#### プリンスクリスチャンスン

東西45kmにわたり両岸に花崗岩の崖が聳え立ち、流水がひしめき合うグリーンランドの中でも最も素晴らしい絶景の一つをお楽しみください。

### 含まれるアクティビティ(例)

- 訪問地に関するレクチャー
- 上陸
- エクスベディションボートでクルーズ
- 写真撮影レクチャー
- 科学に関するイベント
- バードウォッチング

### オプションエクスカーション(例)

- カコトックでコーヒータイム
- カコトックでなめし皮工房見学
- ヌークでの文化・歴史散策
- シシミウトの市内観光
- シシミウトのハイキング
- イルリサットアイスフィヨルドのボート観光
- イルリサットのハイキング
- カヤック

※エクスカーションに関する詳しい情報は [hurtigruten.com](http://hurtigruten.com) でご確認ください。



ハイキング(イルリサット)

● 料金(お一人様) **€7,432**~

出発日	2024年6月9日、24日、7月9日、24日
船名	MSフリオフ・ナンセン
スケジュール	レイキャビク→デンマーク海峡→カコトック→グヴァネフィヨルド→マニートソック→シシミウト→イルリサット→ヴァイガットサウンド→エヴィゲドフィヨルド→ヌーク→イビッツート→プリンスクリスチャンスン→レイキャビク

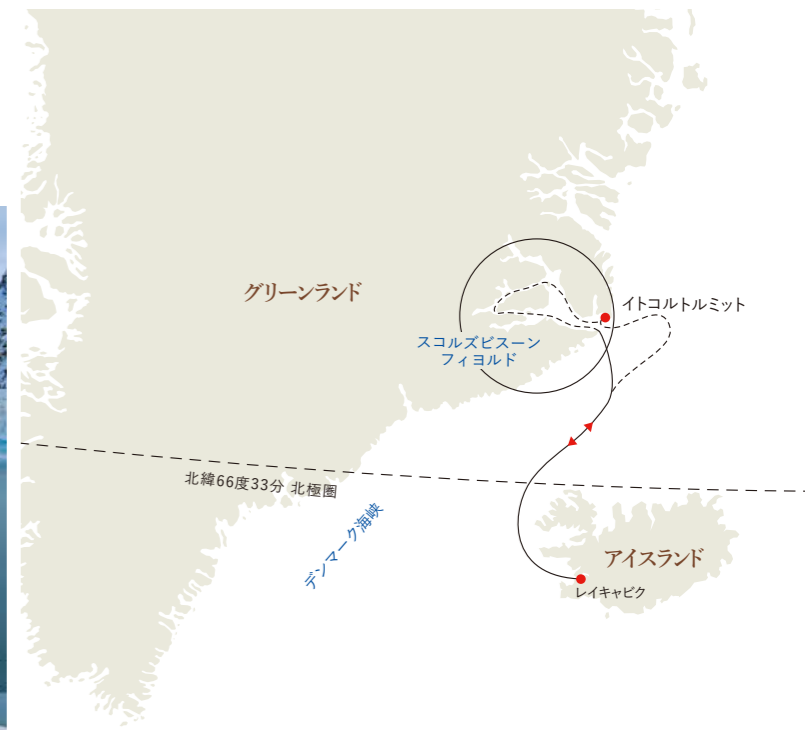
# グリーンランド

究極のフィヨルド探検

13  
日間



スコルズビスーンフィヨルド



..... 天候等により  
順路決定



ホッキョクグマ



スコルズビスーンフィヨルド



イトコトルミット

### 含まれるアクティビティ(例)

- 訪問地に関するレクチャー
- 上陸
- 写真撮影レクチャー
- 科学に関するイベント
- バードウォッチング

※エクスカーションに関する詳しい情報は [hurtigruten.com](http://hurtigruten.com) でご確認ください。

最新鋭の探検船で、人里離れたグリーンランド東海岸を探検します。世界最大のフィヨルドであるスコルズビスーンフィヨルドの壮大な景観に息をのみ、アザラシやクジラ、ユリカモメ、グリーンランドジャコウネコなどの野生動物との出会いに笑みがこぼれるでしょう。イトコトルミットの人々の魅力的な歴史、伝統、文化にも触れることのできる航路です。

### 寄港地の見どころ

#### レイキャビク

カラフルな街並みが可愛らしいアイスランドの首都。世界最北の北緯64度8分に位置します。意味は「煙たなびく湾」という意味で、最初の上陸者が近郊の温泉から上る湯煙を炎の煙と見間違えて名づけた地名と言われています。

#### イトコトルミット

「西半球で最も孤立した村落」といわれるのがこの村です。氷河に囲まれた生活をしながら、500人弱の住民は皆、心の温もりを忘れていません。

#### スコルズビスーンフィヨルド

全長350km、深さ600mの世界最大級のフィヨルド。氷河はもちろん、運が良ければ海鳥やアザラシ、クジラとの出会いも期待できます。



© Getty Images

#### デンマーク海峡

北大西洋と北極海を結ぶ、グリーンランドとアイスランドの間にある長さ480キロにも及ぶ海峡です。タラやエビが豊富でデンマークとアイスランドの重要な漁場となっています。



© Ted Gatlin



イトコトルミット



レイキャビク

● 料金(お一人様) **€6,111**~

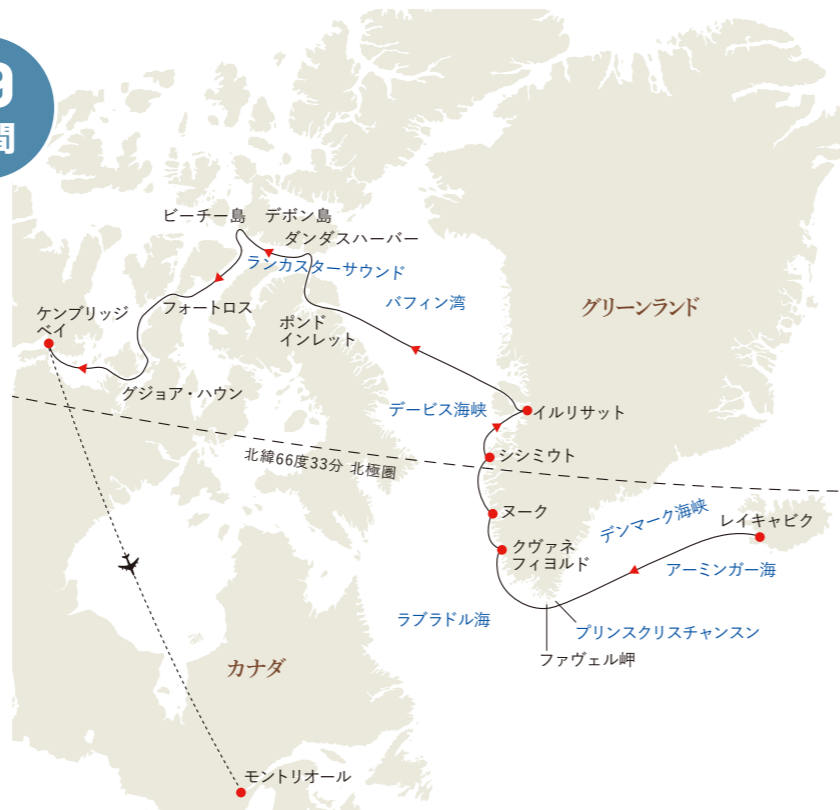
出発日	2023年8月2日 2024年8月11日
船名	MSフラム
スケジュール	レイキャビク→デンマーク海峡→スコルズビスーンフィヨルド→イトコトルミット→レイキャビク

# グリーンランドと北西航路

19日間



ランカスターサウンド/パフィン島



グリーンランド



ビーチ島

火山と氷河の国アイスランドを出発し「ヨーロッパとアジアを結ぶ幻の航路」を求め、アムンセンをはじめ多くの探検家が挑戦した夢の北西航路を航海します。世界最大の島グリーンランドの見逃せない名所にもご案内します。

## 寄港地の見どころ

### ランカスターサウンド/パフィン島

北西航路の玄関口がランカスターサウンドです。パフィン島はカナダ最大の島で、かつてのノルマン人航海者はこの島を「岩の国」と名付けました。

### ビーチ島

1845年英国のフランクリン隊が停泊した地。129人全員が犠牲になる悲劇的結末を迎えることとなり、島にはその中の3人の墓が残されています。

### デボン島

かつては捕鯨基地として栄えた世界最大の無人島。殺伐とした大地が広がり、まるで火星のような風景が広がっています。

### ケンブリッジベイ

北緯69度の北極圏に位置するピクトリア島にある小さな村。海水の生物や地球化学などの研究が行われています。



ホッキョクグマ



北極圏

●料金(お一人様) €12,552~

出発日	2023年8月14日、2024年8月23日
船名	MSフラム
スケジュール	レイキャビク→デンマーク海峡→プリンスクリスチャンソン→クヴァネフィヨルド→ヌーク→シシミウト→イルリサット→パフィン湾→北西航路(ポンドインレット/ダンダスハーバー/フォートロス/グジョア・ハウン/スモーキングヒル)→ケンブリッジベイ→モントリオール

※都市間移動が飛行機移動の場合▶ ※クルーズ船以外で宿泊がある場合▶

# 北西航路 偉大なる探検者の誕生

26日間  
東行き

27日間  
西行き



イルリサットアイスフィヨルド



ダンダスハーバー

遙か北極圏を越え、極北のアラスカ、カナダ、グリーンランド、アイスランドを航海します。自然にやさしいエコハイブリッド船で、かつてヴァイキングが「ヴィンランド」と名付けた手つかずの大自然の絶景を存分にご満喫ください。

## 寄港地の見どころ

### イルリサットアイスフィヨルド

世界遺産・アイスフィヨルドから生み出される巨大な氷山が浮かぶイルリサットに寄港。息を飲むような素晴らしい絶景をお楽しみください。

### ダンダスハーバー

世界最大の無人島デボン島のダンダスハーバーを訪問します。セイウチ、ペルーガ、イッカク、ホッキョクグマとの出会いも期待できます。

### レッドベイ

ヨーロッパからやってきた「バスク人の捕鯨基地」は世界文化遺産に指定されており、捕鯨漁師の住居跡や難破船、クジラの骨などが残されています。



ホッキョクグマ

### スモーキングヒル

この丘は褐炭の広大な鉱床地で、鉱物が空気に触れ自然発火し、何世紀にも渡りたなびく雲のような煙を出し続けていることから名付けられました。



スモーキングヒル

●料金(お一人様) €17,912~

## 含まれるアクティビティ(例)

- 訪問地に関するレクチャー
- 上陸
- エクスペディションポートでクルーズ
- 写真撮影レクチャー
- 科学に関するイベント
- 野生動植物観察
- 住民の村訪問

## オプションエクスカーション(例)

- イルリサットアイスフィヨルドのポート観光
- イルリサットのハイキング
- シシミウトの市内観光
- シシミウト徒歩観光
- シシミウトのハイキング
- コーナーブルックでのグロスマーン国立公園観光
- コーナーブルックでマープルマウンテン・ジップライン体験
- コーナーブルックでキャプテンクックトレイル散策
- コーナーブルックトレイル散策
- カヤック

※エクスカーションに関する詳しい情報はhurtigruten.comでご確認ください。

●料金(お一人様) €18,792~

出発日	【東行き(26日間)】2023年8月18日、2024年8月20日	【西行き(27日間)】2023年8月13日、2024年8月8日
船名	MSロアル・アムンセン	MSフリチョフ・ナンセン
スケジュール	バンクーバー▶ノーム▶ベーリング海峡&日付変更線▶北西航路(スモーキングヒル/ケンブリッジベイ/グジョア・ハウン/フォートロス/ダンダスハーバー/ポンドインレット)▶ディスコ湾▶シシミウト▶レッドベイ▶コーナーブルック▶ハリファックス	レイキャビク▶デンマーク海峡▶プリンスクリスチャンソン▶イビツト▶ヌーク▶ラブラドル海▶北西航路(ポンドインレット/ダンダスハーバー/フォートロス/グジョア・ハウン/ケンブリッジベイ/スモーキングヒル)▶ベーリング海峡&日付変更線▶ノーム▶バンクーバー▶

※都市間移動が飛行機移動の場合▶ ※クルーズ船以外で宿泊がある場合▶

# アラスカ&ブリティッシュコロンビア州

自然、氷河、文化

15日間 北行き  
14日間 南行き



© shutterstock



© ocean.farran

バンクーバーとアンカレッジの間を航海し、アラスカの大自然、氷河、文化を余すところなく満喫できるコースです。北回り、南回りの二つの航路では、異なる風景をご覧いただけるでしょう。アラスカを代表する景勝地、カレッジフィヨルド、ミスティフィヨルド、トレシー&エンディコットアームフィヨルドなども巡ります。

## 寄港地の見どころ

### ミスティフィヨルド

国定天然記念物に指定されるミスティフィヨルドは、海面から900メートルの切り立った岩壁が連なり、雨が不断に降るこの地域特有の霧が神秘的な景観を作り出します。

### ウィリアムヘンリー湾

英国海軍によりジョージ三世の三男に因んで命名されました。25,900平方キロメートルの広大な湾には、10,000もの氷河が存在すると言われます。

**ピーターズバーグ**  
アラスカでのノルウェー文化の中心部であり、通りにはノルウェー風のかわいらしい装飾が施された建物が並びます。アラスカ最大のタラ漁船団の基地です。

**アイシーベイ**  
グレーシャー湾の南端にあり、クジラのえさになるプランクトンが豊富にあるこの付近では、回遊してくるザトウクジラやシャチなどに会えるかもしれません。

**カレッジフィヨルド**  
氷河から流れ出た多くの氷塊が漂う海にはクジラをはじめイルカ

やシャチ、ラッコ、山裾の森にはクマ、シカ、ドールシープなど約200種類の野生動物が生息します。

**ヘインズ**  
アラスカハイウェイの中継地。氷河に包まれた山々、サーモンが溢れる川、白頭鷲が舞う青い空が印象的なインサイドパッセージでもっとも美しい景観の街です。

**トレシーアームフィヨルド**  
長さ約26マイル(42キロメートル)の狭い水路の両側には切り立った峡谷が続き、フィヨルドの最深部ではツイン・ソーヤ氷河を見学することができます。

## 含まれるアクティビティ(例)

- エクスベディションボートでクルーズ
- 写真撮影レクチャー
- 科学に関するイベント
- 野生動物ウォッチング

## オプションエクスカーション(例)

- トングス国立公園の森林ウォーク
- ランゲルの見どころ
- ランゲルでの雨林ハイキングとジェットボート
- ピーターズバーグのフェスティバル
- チルカット白頭鷲保護センター
- クルクワン自然文化体験
- ラストフロンティアATV(全地形対応車)体験
- シトカでカヤック体験
- シトカでの野生動物クвест

※エクスカーションに関する詳しい情報はhurtigruten.comでご確認ください。



© shutterstock

● 料金(お一人様) €4,633~

● 料金(お一人様) €4,282~

出発日	【北行き(15日間)】2024年5月16日、6月9日	【南行き(14日間)】2024年5月28日、6月21日
船名	MSロアル・アムンセン	MSロアル・アムンセン
スケジュール	バンクーバー→ミスティフィヨルド国定記念公園→ランゲル→ピーターズバーグ→トレシー&エンディコットアームフィヨルド→ヘインズ→ウィリアムヘンリー湾→シトカ→アイシーベイ→コルドバ→カレッジフィヨルド→スワード→アンカレッジ	アンカレッジ→スワード→カレッジフィヨルド→アイシーベイ→ウィリアムヘンリー湾→ヘインズ→トレシー&エンディコットアームフィヨルド→シトカ→ピーターズバーグ→ランゲル→ミスティフィヨルド国定記念公園→アラートベイ→バンクーバー

※車移動の場合 ※クルーズ船以外で宿泊がある場合

# ペルーとチリ

ガラパゴス諸島とインカの見どころ  
マチュピチュとインカの見どころ

14日間 Aコース  
11日間 Bコース



© Camille\_Seaman

※マヤオ〜バルパライソ間のクルーズは共通



**★Aコース(14日間)**  
珍しいキトでの赤道体験、「ゾウガメの島」ガラパゴス諸島訪問、世界遺産リマの街並み、謎に包まれたナスカの地上絵。毎日がハイライトの連続で、南米大陸太平洋岸の見どころを全て網羅した決定版ともいえるコースです。

**★Bコース(11日間)**  
世界遺産の街並みが美しいリマからインカ帝国の都クスコへ。インカの遺跡が多く残るセイクリッドバレーのホテルに二連泊し、豪華列車「ハイラム・ビンガム」でマチュピチュ遺跡を訪れます。謎に包まれたナスカの地上絵もお楽しみいただけます。

## 寄港地の見どころ

### ガラパゴス諸島

エクアドル本土より約900km、太平洋に浮かぶ赤道直下の孤島。ゾウガメやイグアナなど、閉ざされた環境下で独自の進化を遂げた野生動物の観察をご満喫ください。



© tr-davis

### マチュピチュ

古代インカ帝国が残した空中都市。高度な文明が栄えた後に忽然と歴史からその姿を消し、20世紀にアメリカの探検家ハイラム・ビンガムにより発見されました。

### アリカ(チリ)

世界史上最大の銀山のひとつポトシ銀山から産出された銀の輸出港として栄えたアリカは、アタカマ砂漠の北部の街で「世界で最も乾燥した街」とも呼ばれています。



© shutterstock



© Don Mammoser / Shutterstock

● 料金(お一人様) €5,815~

● 料金(お一人様) €4,298~

出発日(船名)	【Aコース(14日間)】2023年9月30日(MSフラム)、10月4日(MSロアル・アムンセン)、14日(MSフリチョフ・ナンセン)	【Bコース(11日間)】2023年10月3日(MSフラム)、10月7日(MSロアル・アムンセン)、10月17日(MSフリチョフ・ナンセン)
スケジュール	キト→グアヤキル→サンタクルス島→ガラパゴス諸島→グアヤキル→リマ→マヤオ→バラカス/ビスコ→アリカ→イキクエ→ラセレナ→バルパライソ	リマ→クスコ/セイクリッドバレー→マチュピチュ→クスコ→リマ→マヤオ→バラカス/ビスコ→ナスカ→アリカ→イキクエ→ラセレナ→バルパライソ

※都市間移動が飛行機移動の場合 ※列車移動の場合 ※車移動の場合 ※クルーズ船以外で宿泊がある場合

# ガラパゴス諸島の魅力

独自の進化を遂げた動物たちの楽園で貴重な固有種と遭遇！

ダーウィンが進化論の着想を得たことで知られる「ガラパゴス諸島」は、1978年ユネスコの世界遺産リストに最初に登録されました。ここでしか見られない生態系とユニークな生物多様性に触れる一生に一度の体験をお約束いたします。



イザベラ島

6つの火山が連なって出来た島です。ガラパゴス諸島最大の面積と標高をもち、諸島内では赤道が通過する唯一の島です。島の南部には有人島の中では3番目に大きい街、プエルト・ビジャミルがあり、昔の面影が残っています。

サンティアゴ島

溶岩が流れ出て出来た島で、雄大な火山地形が見られます。16世紀以来、海賊や航海者たちの投錨地として利用されました。1835年、チャールズ・ダーウィンが訪れたとき、「その巣穴の多さにテントを張る場所に困った」程のリクイグアナは、人間によって持ち込まれたヤギにより、今はこの島から姿を消しました。かつて製塩業が営まれたこともあり、当時の廃屋が残っています。



©Shutterstock

ノースセイモア島

海底隆起により出来た平坦な島。聖なる木、パロサントの茂みは、アメリカグンカンドリとオオグンカンドリ2種が混じりあって営巣する興味深い場所です。ほぼ一年中赤い喉を膨らませて求愛するグンカンドリが観察できます。開けた場所にはアオアシカツオドリが営巣し、崖には世界で最も美しいカモメと称されるガラパゴスアカメカモメが観察できます。



©Getty Images

ヘノベサ島

諸島内には多くの島がありますが、赤道の北側にある上陸地は少なく、他の島ではほとんど見られないアカアシカツオドリに会える貴重な場所で海鳥の楽園となっています。



©John\_Chardine

至キト

上陸できる島は16島のみ！それ以外の島は岩礁や小島で成り立っています。フットゥルーテンのエクスペディションシップでは、個人では巡るの難しい島々にも上陸します。



©Shutterstock

バルトロメ島

ラビダ島

チャイニーズ・ハット島

ピンソン島

エデン島

大ダフネ島

サウスプラザ島

(右ページ参照)

バルトラ島

ガラパゴスの主要な玄関口バルトラ空港があります。各種クルーズ船の基地として発着に使われる港と、イタバカ海峡を隔ててサンタクルス島に渡る桟橋があり、空港から乗合バスがピストン輸送しています。

サンクリストバル島

(右ページ参照)



©Andrea\_Klaussner

エスパニョーラ島

(右ページ参照)



©Ashton\_Ray\_Hansen

サンタフェ島

(右ページ参照)



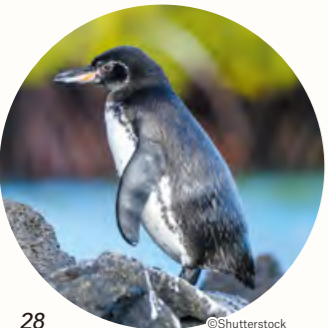
©Shutterstock

フロレアーナ島

プエルト・ベラスコ・イバラの街は、ガラパゴス諸島の有人島で最も小さな街です。しかし、人間が訪れた歴史は古く、大航海時代にさかのぼります。



©Getty Images



©Shutterstock

フェルナンディーナ島

諸島の最西端にあり、今から約50万年前に現れた諸島内で最も若い島です。今でも火山が活動を続けています。唯一上陸が許されているエスピノーサ岬は溶岩大地が広がる海岸で、ガラパゴスコパネウとガラパゴスペンギンが営巣、またウミグアナの大コロニーとなっています。

サンタクルス島

諸島最大の街プエルト・アヨラには、保全の前線基地である国立公園の本部事務所及びチャールズ・ダーウィン研究所があります。ホテルも多く、各種クルーズやツアーの拠点となっています。

# ガラパゴス諸島の探検

ダーウィンの足跡をたどって

9日間



©Shutterstock



©Shutterstock

サンタフェ島



©Ashton\_Ray\_Hansen

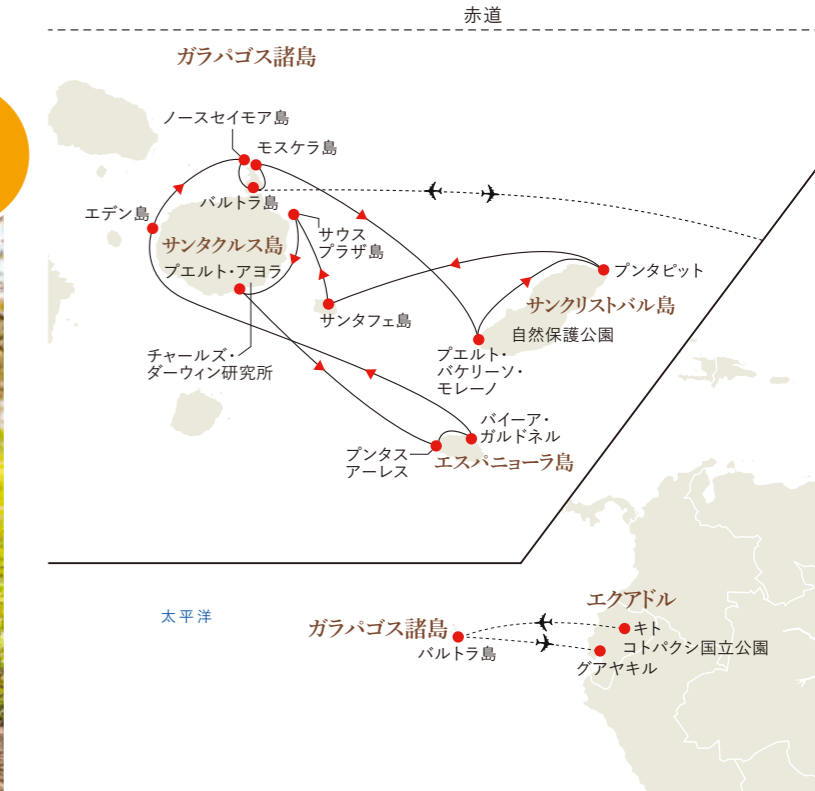
サウスプラザ島



©Dennis\_Ballesteros

エスパニョーラ島

(右ページ参照)



エクアドルのキトからチャールズ・ダーウィンの足跡をたどり、比類なきガラパゴス諸島の自然の驚異を体験、多種多様な野生動物にも出会える旅です。1835年にダーウィンが訪れた4つのガラパゴス諸島のうち、最初の島であり最東端にあるサンクリストバル島の他に、モスケラ島、サンタフェ島、サウスプラザ島、サンタクルス島、エスパニョーラ島、エデン島、ノースセイモア島も訪れます。

## 寄港地の見どころ

### キト

一年を通して春の気配を感じるこの街は、標高2,850メートルの世界で2番目に高い場所に位置しています。古代インカの集落を起源とし、現在は賑やかでモダンな街並みが広がっています。旧市街にはスペイン古典建築の建物が並び、1978年にユネスコの世界遺産に登録されました。

### サンクリストバル島

島の東端にあるプンタ・ビットは浸食された火山円錐で構成されて

いて、ガラパゴス諸島で唯一、3種類のカツオドリの姿を見ることが出来る場所です。中でもアオアシカツオドリは、青い足をしているのですぐ分かります。

### サンタフェ島

白浜の美しいビーチが目引くこの島には、アシカのコロニーや固有種のバrinton・ランド・イグアナが生息しており、巨大なウチワサボテンの間に座る姿や岩の上で日向ぼっこする姿を見ることが出来ます。

### サウスプラザ島

ターコイズブルーの海と白い砂浜、

そして黒い溶岩のコントラストが美しい水路を通ります。海岸沿いでは、風に乗って滑空するフリゲートバードやツバメウオ、ミズナギドリに出会えるかもしれません。

### エスパニョーラ島

400万年前に誕生した最古の島のひとつといわれる島は、群島で最も南に位置する島です。3月から1月にかけて世界のアホウドリのほぼ全個体がここで繁殖し、野鳥愛好家を魅了しています。また、赤い色が印象的なエスパニョーラ溶岩トカゲや、この地だけの固有亜種である色鮮やかなウミグアナにも注目です。

## 含まれるアクティビティ(例)

- 写真撮影レクチャー
- 海外付近の散策
- カヤック
- シュノーケル
- グラスボトムボート
- ウェットスーツレンタル
- コトバシ国立公園への終日ツアー(ランチ付き)

※エクサカーションに関する詳しい情報は [hurtigruten.com](http://hurtigruten.com) でご確認ください。

★他にもガラパゴス諸島9島(バルトラ島、サンタクルス島、イザベラ島、フェルナンディーナ島、サンティアゴ島、フロレアーナ島、ラビダ島、バルトロメ島、ヘノベサ島)と南米を巡る14日間のコースなど、多彩なコース、出発日がございます。



©Ashton\_Ray\_Hansen

● 料金(お一人様) €6,963~

出発日	2023年7月5日、19日、8月2日、16日、30日、9月13日、27日、10月11日、25日、11月8日、22日、12月6日、20日 2024年1月3日、17日、31日、2月14日、28日、3月13日
船名	MSサンタクルスII
スケジュール	キト→ガラパゴス諸島(バルトラ島→サンクリストバル島→サンタフェ島→サウスプラザ島→サンタクルス島→エスパニョーラ島→エデン島→ノースセイモア島)→グアヤキル→キト

※都市間移動が飛行機移動の場合 ※クルーズ船以外で宿泊がある場合

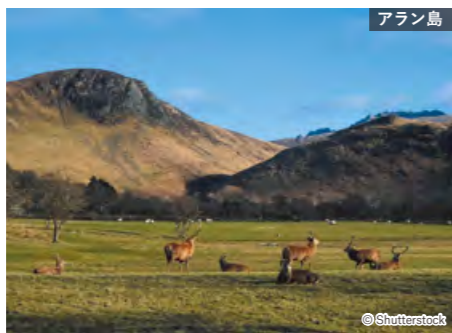
## 英国諸島

スコッチウイスキートレイル&  
アイリッシュ海の探検11  
日間

フォートウィリアム



ポートルッシュ



アラン島



アイラ島

美しいスコットランドの風景やアイルランドの歴史ある都市、古城を訪れるブリテン島北部の発見のクルーズです。神秘的な自然の造形物ジャイアンツ・コーズウェーに驚き、マン島ではケルトとヴァイキングの歴史を紐解き、ベルファストで北アイルランドの造船遺跡を訪れます。アラン島、マル島、アイラ島にあるスコットランド最古のウイスキー蒸留所で訪れ、居心地の良いパブで本場のウイスキーをご堪能ください。

## 寄港地の見どころ

## ポートルッシュ

ビクトリア朝時代に造られたポートルッシュは、砂浜と風光明媚な崖の上の長さ1マイルの半島に位置する小さなリゾートタウンです。見どころの一つは朽ち果てながらも中世の面影を残すダンルース城の遺構です。

## ベルファスト

タイタニック号誕生の地である北アイルランドの首都には、船員の歴史を刻んできたビクトリア様

式の建築物が数多く残ります。地元の名物料理に合うジン、ウイスキーを本場のパブでお楽しみください。

## フォートウィリアム

英国最高峰のベンネビス山と美しいリニ湖の景色を有するこの町は、スコットランドのリゾートとして高い人気を誇ります。壮大な高原の風景と小さな町の素朴な雰囲気がかつて人を魅了します。

## アラン島

「スコットランドのミニチュア」として知られるアラン島。刻々と変化する海岸線、そそり立つ山の頂、

保護されたビーチ、緑豊かな森林など美しい景観に溢れています。スコットランドの「ビッグ5」と呼ばれるアカシカ、アカリス、カワウソ、アザラシ、イヌワシの楽園です。

## アイラ島

「ウイスキーアイランド」と呼ばれるこの町は、上質なウイスキー蒸留所と毛織物が有名です。また200種を超える鳥類、素晴らしい崖の上の散歩道、考古学的に貴重な遺跡、ゴルフコースなど、野生的な魅力にあふれています。

## 含まれるエクサカーション(例)

- ポートルッシュでの羊牧犬のデモンストレーション
- ダンルース城とジャイアンツコーズウェー
- マン島のビーチ清掃
- フォートウィリアムの景観ゴンドラ乗車
- アラン島でのプロディック城シャトル送迎

## オプションエクサカーション(例)

- アイルランド移民博物館
- マル島での景勝地パノラマ観光
- ベルファストのタイタニック緑の地散策
- ベルファストからのジャイアンツコーズウェー観光

※エクサカーションに関する詳しい情報は [hurtigutten.com](http://hurtigutten.com) でご確認ください。



マン島

●料金(お一人様) €3,418~

出発日	2024年3月31日
船名	MSスピッツベルゲン
スケジュール	グラスゴー→ポートルッシュ→ベルファスト→マン島→ダブリン→アラン島→マル島→フォートウィリアム→オーバン→アイラ島→グラスゴー

## スコットランド諸島

ウイスキーと野生動物  
ヘブリディーズ諸島から  
シェトランド諸島へ(北行き)13  
日間

セントキルダ島



シェトランド諸島



カークウォール



マン島

グラスゴーを出発し、スコットランドの島々を巡ります。アイラ島、スカイ島を訪れピートのきたウイスキーを堪能しましょう。ユネスコの自然遺産、文化遺産の両方に登録されているアウター・ヘブリディーズ諸島のセントキルダ島、ヴァイキングの影響を受けたオークニー諸島、人里離れたシェトランド諸島まで足を延ばしベルゲンへと航行します。素晴らしい大自然の中、ワシ、アザラシ、クジラなど野生動物に出会うチャンスも満載です。

## 寄港地の見どころ

## セントキルダ島

自然と文化が共にユネスコ世界遺産に登録され、スコットランド・ナショナル・トラストでは「王冠の宝石」と称されるセントキルダは、野生動物の楽園として唯一無二の体験をお約束します。

## アイオナ島

インナー・ヘブリディーズ諸島にあり、スコットランドの「キリスト教発祥の地」として知られます。アイオナ修道院の遺構が残り、「世界

で最も美しい本」と称されるアイルランドの国宝「ケルズの書」とも密接な関係があります。

## カークウォール

オークニー諸島最大の町であり、17世紀から18世紀頃のオークニー特有のヴァーナキュラー様式の建築物が保存されています。町の中心部には聖マグヌス大聖堂が鎮座し、その尖塔はどの方向からもよく見えるランドマークです。

## フェア島

ノース語で羊の島を意味するシェトランド諸島を構成する島の一つです。有名なニット『フェア・アイ

ル』の産地であり、この手編みのニットは島の女性の重要な収入源となっています。

## ストーノウェイ

元々ヴァイキングの集落だったこの町は、現在ルイス島とハリス島の首都です。興味深い博物館やゴシック様式のルイス城、謎のカラニッシュ立石などが残っています。



アイオナ島

## 含まれるエクサカーション(例)

- マン島ピールでのバードウォッチング
- カンナ島エクスペディションボートで上陸
- フェア島の徒歩観光 ティー付き
- アイル島の海岸散策
- カークウォールの徒歩観光
- ラーウィックのシャーロット塔、徒歩観光
- セントキルダ島エクスペディションボートで上陸

## オプションエクサカーション(例)

- マン島ピールでのビクトリア朝トレン乗車
- ベルファストでのジャイアンツコーズウェー観光
- マン島ピールでのヴァイキング時代の遺跡と火山地帯観光
- ベルファストでのタイタニック緑の地観光
- アイラ島でのアードベック醸造所訪問

※エクサカーションに関する詳しい情報は [hurtigutten.com](http://hurtigutten.com) でご確認ください。



アイオナ島

●料金(お一人様) €4,489~

出発日	2024年5月20日
船名	MSスピッツベルゲン
スケジュール	グラスゴー→ベルファスト→マン島→アイラ島→アイオナ島→トレッシュニッシュ諸島→スカイ島→カンナ島→セントキルダ島→ストーノウェイ→カークウォール(オークニー諸島)→フェア島→ラーウィック→ベルゲン



# ノルウェーのコースタルキッチン

～沿岸地域から船上の厨房へ  
地産地消で味わうノルウェーの食～



ノルウェークルーズに文字通りさらなるフレイバー(風味)を加えるのが船上のお食事です。受け継がれてきた郷土料理や有機農法の肉やチーズ、家庭に伝わるデザートなど、地産地消の食材を使ったサステナブルなお食事は、ノルウェークルーズの大きな楽しみであり、未来につなげたい食の在り方です。

フッティルテンは、訪れる沿岸地域や内陸の生産農家や漁師から食材を購入し、長い年月をかけて信頼関係を築きあげてきました。だからこそシェフたちは毎日新鮮な食材を入手し、素晴らしい料理を提供できるのです。

**ノールカップ** ヨーロッパ最北端、断崖絶壁の岬がノールカップ岬です。ここから北極点の間には、荒涼とした海と氷塊以外何もありません。正に地球の果てとも呼べる地です。



ノールカップ  
ホニングスヴォーグ

## ノルウェーの味覚・北の海と大地からの贈り物

地元の漁師や農家から直送される旬の食材は多種多様。朝捕れたばかりの鮮魚や、朝露に輝くフレッシュベリー、香り立つハーブなどが食卓を彩ります。食材は80%以上がノルウェー産です。

- 海の幸…タラ、サーモン、ホタテ、北極イワナ、甘えび、レッドキングクラブ(タラバガニ)、ムール貝
- 大地の実り…ジャガイモ、野菜、各種フルーツ、ベリー類
- ローカルファームより…トナカイ肉、ラム肉、ビーフ、ポーク、チキン、ヨーグルト、チーズ

## 世界で最も美しい船旅

**ロフォーテン** 雪を頂く山々、趣溢れる漁村とタラ漁の伝統、入り組んだフィヨルドや手付かずのビーチなど、自然と人間が共存する、ノルウェーの原風景がここにあります。

ヴェステローレン  
リソイハムン  
ストックマルクネス  
トロールフィヨルド  
スヴォルヴァール  
ロフォーテン  
レイネ



リングエンアルプス  
© CAROLYN BEANE/MARTIN GUEST IMAGE

**リングエンアルプス** 美しい白亜のリングエンアルプスは静かなフィヨルドに囲まれて聳えています。眼前に展開する、世界的にも珍しい絵画のような光景が印象的です。

## 地元の美味しい郷土料理

南北に長いノルウェーでは、気候や文化、食材の種類にも地域性が見られ、その地域毎に郷土料理が存在します。毎日変わるメニューでノルウェーの味をお楽しみください。夕食には3コースのビーガン料理もご用意できます。

### メニュー例

- ロフォーテン諸島のヤギのチーズと干しダラのフィレ
- ガイランゲルフィヨルド育ちのラム肉のステーキ
- フィンマルク地方産トナカイのロースト
- ギャングスタッド農場の自家製アイスクリーム



レイネ  
© Shutterstock

サンネスショーエン  
ブレンネイスン

## オーロラ観賞を保証 オーロラプロミス



Northern Lights Promise  
© Johanna Grell - Unsplash

### オーロラ出現を船内放送で

北極圏では冬季に頻りに出現するオーロラ。ノルウェー沿岸を航行するフッティルテンでは、オーロラ観測の機会がたくさんあります。オーロラが出現した際には、船内放送でご案内いたします。わざわざツアーで出かける必要はありません。パノラマラウンジや屋外デッキで、遮るものないオーロラの景色をお楽しみください。

### 出現しない場合、片道コースを無料提供

北極圏でオーロラが出現するのは例年10月1日から3月31日頃。この期間にご乗船いただき、オーロラが出現しなかった場合には、6～7日間の片道沿岸クルーズを無料でご提供いたします(対象期間は毎年10月1日から3月31日。帰国日から28日以内にご予約ください。航空券、寄港地ツアー、荷物の取り扱いには含まれません。譲渡・変更不可)

トロンハイム  
クリスチャンサンド  
モルデ  
オーレセン  
ガイランゲルフィヨルド  
ヨールン  
フィヨルド

ベルゲン  
スタヴァンゲル  
リーセフィヨルド



リーセフィヨルド  
© Shutterstock

# オーロラ探訪 ロンドン発着

15日間

10月から3月にかけては、オーロラ鑑賞のベストシーズンです。ロンドンを出発し北極圏へ向かえば、自然界で最もまぶしい現象のひとつであるオーロラを見られる確率がさらに高くなります。またこの季節はノルウェーの息を呑むような景色を背景に、さまざまなウィンターアクティビティを楽しむのにも最適な時期です。エクスペディションチームと一緒にノルウェーの魅力的なフィヨルド沿いをクルーズし、海岸沿いのコミュニティや地元の文化を発見してください。

### 寄港地の見どころ

#### レイネ

切り立った灰色の花崗岩の崖の下に可愛らしい漁師の家が並ぶ絵のように美しい漁村は、ノルウェー全土で最も写真に撮られる風景の1つです。

#### アルタ

降水量が少なく澄んだ空が広がるため、オーロラ観察に絶好のロケーションとして知られています。スノーモービル、犬ぞり、登山などの冬のアクティビティにも最適な場所です。

#### トロムソ

いくつかの歴史的な北極探検の出発点であるこの国際的で文化的な街。デザイン性の高い建築物、歴史、そして世界最北端のビール醸造所の一つで知られています。

#### ベルゲン

ユネスコ世界遺産に登録されているブリッゲン地区やベルゲン要塞から、有名な魚市場、水族館、フロイエン山のケーブルカーまで見どころ満載の街です。

#### ノールフィヨルド

ヨーロッパ最大のヨステダール氷河の支流で青く神秘的な美しさを誇るプリクスダール氷河があります。フィヨルドと氷河の両方が楽しめる場所です。



ノールフィヨルド  
© Shutterstock



●料金(お一人様) €4,485～

# オーロラ探訪 アムステルダム発着

14日間

アムステルダムからノルウェーの沿岸をクルーズし、ドラマチックで魅惑的なフィヨルドを探検します。ヨーロッパ大陸の最北端に位置するノルウェーでは、息を呑むような山々や氷河の絶景を楽しむことができます。ロフォーテン諸島の可愛らしい漁村、歴史的な都市ベルゲン、北極圏の美しい首都トロムソなど、素晴らしい場所を故郷とするコミュニティの歴史や文化を体験してください。

### 寄港地の見どころ

#### エマイデン

オランダ北部、アムステルダム近くの港町で、ビーチグラスの茂る美しい砂丘に囲まれた風光明媚な場所です。19世紀に造られた要塞は、ユネスコの世界遺産に登録されています。



スボルベル  
© Gettyimages

#### スタヴァンゲル

ノルウェー第四の街。1960年代に沖合で石油が発見されて以来、ノルウェーの石油・ガス・エネルギー産業の中心地となりました。近郊のリーセフィヨルドへ多くの観光船が発着します。

#### スボルベル

ロフォーテン諸島最大の町です。昔ながらの魚を干すための木製の棚、漁師の小屋、可愛らしいギャラリやショップが人気です。戦争記念博物館には貴重な展示物が並びます。

#### ホニングスヴォーグ

北極圏に位置するノルウェーの最北端の村。緯度はシベリアやアラスカと同じですが、不凍の海と緯度の割には暖かい気候で多くの観光客が訪れます。



© Shutterstock



●料金(お一人様) €3,690～

出発日 2024年1月6日、20日、2月3日、17日、3月2日、16日、30日

船名 MSモード

スケジュール エマイデン(アムステルダム)→デンヘルダー→スタヴァンゲル→カルバーグ→スボルベル→トロムソ→ホニングスヴォーグ→トロンハイム→ファラランド→ベルゲン→エマイデン(アムステルダム)

## 南極

出発日	船名	コース名	日数	訪問都市	料金(€)
2023年11月2日、16日、30日、12月14日 2024年2月24日、11月6日、20日、12月14日、28日	MSロアール・アムンセン	南極大陸、フォークランド諸島探訪	16	ブエノスアイレス✕→ウシュアイア→ドレイク海峡→南極大陸→フォークランド諸島→ウシュアイア✕→ブエノスアイレス	7,578～
2023年11月12日、22日、12月2日、12日、22日 2024年1月1日、11日、2月6日、16日、26日、3月7日	MSフリチョフ・ナンセン	南極大陸 凍てつく大陸のハイライト	12	ブエノスアイレス✕→ウシュアイア→ドレイク海峡→南極大陸→ビーグル海峡→ウシュアイア✕→ブエノスアイレス	6,318～
2023年12月28日 2024年3月9日、11月17日、27日、12月4日、7日、17日、27日 2025年1月6日、16日、26日、2月5日、15日、25日、28日、3月7日、10日	MSロアール・アムンセン	南極大陸 凍てつく大陸のハイライト	12	ブエノスアイレス✕→ウシュアイア→ドレイク海峡→南極大陸→ビーグル海峡→ウシュアイア✕→ブエノスアイレス	6,318～
2024年1月7日、23日、2月8日 2025年1月11日、27日、2月12日	MSロアール・アムンセン	南極圏の探検	18	ブエノスアイレス✕→ウシュアイア→ドレイク海峡→南極大陸→マーガレット湾→ビーグル海峡→ウシュアイア✕→ブエノスアイレス	8,978～

## アイスランド

出発日	船名	コース名	日数	訪問都市	料金(€)
2024年5月9日、19日、8月1日	MSフラム	アイスランド周遊 エルフとサガ神話、火山の大地 Bコース	11	レイキャビク→スティッキスホルムル→バトレクスフィヨルズル→北西アイスランド→デューパビク→アークレイリ→北極圏通過/グリムセイ島→フサビク→パッカゲルジ→ヘイマイエ島→レイキャビク	4,152～
2024年5月16日、24日、6月1日	MSフリチョフ・ナンセン	アイスランド周遊 エルフとサガ神話、火山の大地 Aコース	9	レイキャビク→スティッキスホルムル→バトレクスフィヨルズル→北西アイスランド→アークレイリ→北極圏通過/グリムセイ島→パッカゲルジ→ヘイマイエ島→レイキャビク	3,592～

## スヴァルバル諸島

出発日	船名	コース名	日数	訪問都市	料金(€)
2023年6月4日、11日、18日、25日、7月2日、9日、16日、23日、30日、8月6日、13日、20日、27日	MSノールスチャーネン	スピッツベルゲン島とホッキョクグマ 北極圏の冒険 Bコース	6	ロンゲイヤービーエン→イースフィヨルド→マグダレーネフィヨルド&ノースウエストコーナー→コングスフィヨルド&ニーオーレスン→イースフィヨルド→ロンゲイヤービーエン	1,640～
2023年6月7日、14日、21日、28日、7月5日、12日、19日、26日、8月2日、9日、16日、23日、30日	MSノールスチャーネン	スピッツベルゲン島とホッキョクグマ 北極圏の冒険 Aコース	6	ロンゲイヤービーエン→イースフィヨルド→マグダレーネフィヨルド&ノースウエストコーナー→ウッドフィヨルド&リーフデフィヨルド→コングスフィヨルド&ニーオーレスン→ロンゲイヤービーエン	1,723～
2023年9月23日 2024年9月11日	MSスピッツベルゲン	フェロー諸島、アイスランド、スピッツベルゲン島 北極圏内と周辺の島巡り 南行き	14	オスロ→ロンゲイヤービーエン→北西スピッツベルゲン国立公園→ヤンマイエン島→アークレイリ→フサビク→パッカゲルジ→フェロー諸島(エルドヴィーク/トースハウン)→シェトランド諸島(ラーウィック)→ベルゲン	4,758～
2024年5月29日	MSフラム	スピッツベルゲン島、ヤンマイエン島、アイスランド 北極圏の島発見	10	レイキャビク→スティッキスホルムル→バトレクスフィヨルズル→アークレイリ→グリムセイ島→ヤンマイエン島→北西スピッツベルゲン国立公園→ロンゲイヤービーエン→オスロ	3,958～
2024年6月1日	MSスピッツベルゲン	フェロー諸島、アイスランド、スピッツベルゲン島 北極圏内と周辺の島巡り 北行き	14	ベルゲン→シェトランド諸島(ラーウィック)→フェロー諸島(トースハウン/エルドヴィーク)→パッカゲルジ→フサビク→アークレイリ→ヤンマイエン島→北西スピッツベルゲン国立公園→ロンゲイヤービーエン→オスロ	4,758～
2024年6月6日、13日、21日、29日、7月7日、15日	MSスピッツベルゲン	スヴァルバル諸島周遊 ホッキョクグマの王国 Bコース	10	オスロ→ロンゲイヤービーエン✕→北西スピッツベルゲン国立公園→東スヴァルバル自然保護区→南東スヴァルバル自然保護区→南スピッツベルゲン国立公園とベルスン→イースフィヨルド→ロンゲイヤービーエン→オスロ	6,192～
2024年6月14日、22日、30日	MSフラム	スヴァルバル諸島周遊 ホッキョクグマの王国 Bコース	10	オスロ→ロンゲイヤービーエン✕→北西スピッツベルゲン国立公園→東スヴァルバル自然保護区→南東スヴァルバル自然保護区→南スピッツベルゲン国立公園とベルスン→イースフィヨルド→ロンゲイヤービーエン→オスロ	6,192～
2024年7月8日	MSフラム	スヴァルバル諸島周遊 究極の探検 Aコース	12	オスロ→ロンゲイヤービーエン✕→北西スピッツベルゲン国立公園→北東スヴァルバル国立公園→南東スヴァルバル自然保護区→南スピッツベルゲン国立公園とベルスン→イースフィヨルド→ロンゲイヤービーエン→オスロ	6,592～
2024年7月23日、8月2日、12日、22日、9月1日	MSスピッツベルゲン	スヴァルバル諸島周遊 究極の探検 Aコース	12	オスロ→ロンゲイヤービーエン✕→北西スピッツベルゲン国立公園→北東スヴァルバル国立公園→南東スヴァルバル自然保護区→南スピッツベルゲン国立公園とベルスン→イースフィヨルド→ロンゲイヤービーエン→オスロ	6,592～

## グリーンランド

出発日	船名	コース名	日数	訪問都市	料金(€)
2023年8月2日 2024年8月11日	MSフラム	グリーンランド 究極のフィヨルド探検	13	レイキャビク→デンマーク海峡→スコルズビスーンフィヨルド→イトコルトミット→レイキャビク	6,111～
2024年6月9日、24日、7月9日、24日	MSフリチョフ・ナンセン	ディスコ湾 グリーンランドの中心	16	レイキャビク→デンマーク海峡→カコトック→クヴァネフィヨルド→マニートソック→シシミウト→イルリサット→ヴァイガットサウンド→エヴィゲドフィヨルド→ヌーク→イビッツト→プリンスクリスチャンズン→レイキャビク	7,432～

## 北西航路

出発日	船名	コース名	日数	訪問都市	料金(€)
2023年8月13日 2024年8月8日	MSフリチョフ・ナンセン	北西航路 偉大なる探検者の誕生 西行き	27	レイキャビク→デンマーク海峡→プリンスクリスチャンズン→イビッツト→ヌーク→ラブラドル海→北西航路(ポンドインレット/ダundasハーバー/フォートロス/グジョア・ハウン/ケンブリッジベイ/スモーキングヒル)→ベアリング海峡&日付変更線→ノーム→バンクバー✕	18,792～
2023年8月14日 2024年8月23日	MSフラム	グリーンランドと北西航路	19	レイキャビク→デンマーク海峡→プリンスクリスチャンズン→クヴァネフィヨルド→ヌーク→シシミウト→イルリサット→パフィン湾→北西航路(ポンドインレット/ダundasハーバー/フォートロス/グジョア・ハウン/スモーキングヒル)→ケンブリッジベイ→モントリオール✕	12,552～
2023年8月18日 2024年8月20日	MSロアール・アムンセン	北西航路 偉大なる探検者の誕生 東行き	26	バンクバー✕→ノーム→ベアリング海峡&日付変更線→北西航路(スモーキングヒル/ケンブリッジベイ/グジョア・ハウン/フォートロス/ダundasハーバー/ポンドインレット)→ディスコ湾→シシミウト→レッドベイ→コーナーブルック→ハリファックス	17,912～

## アラスカ

出発日	船名	コース名	日数	訪問都市	料金(€)
2024年5月16日、6月9日	MSロアール・アムンセン	アラスカ&ブリティッシュコロンビア州 自然、氷河、文化 北行き	15	バンクバー✕→ミスティフィヨルド国立記念公園→ランゲル→ピーターズバーグ→トレシー&エディコットアームフィヨルド→ヘインズ→ウィリアムヘンリー湾→シトカー→アイシーベイ→コルドバ→カレッジフィヨルド→スワード✕→アンカレッジ✕	4,633～
2024年5月28日、6月21日	MSロアール・アムンセン	アラスカ&ブリティッシュコロンビア州 自然、氷河、文化 南行き	14	アンカレッジ✕→スワード→カレッジフィヨルド→アイシーベイ→ウィリアムヘンリー湾→ヘインズ→トレシー&エディコットアームフィヨルド→シトカー→ピーターズバーグ→ランゲル→ミスティフィヨルド国立記念公園→アラートベイ→バンクバー	4,282～

## 南米

出発日	船名	コース名	日数	訪問都市	料金(€)
2023年9月30日	MSフラム	ペルーとチリ ガラパゴス諸島と インカの見どころ Aコース	14	キト✕→グアヤキル サンタクルス島→ガラパゴス諸島✕→グアヤキル→リマ✕→カヤオ→パラカス/ビスコ→アリカ→イキクエ→ラセレナ→バルパライソ	5,815～
2023年10月3日	MSフラム	ペルーとチリ マチュピチュと インカの見どころ Bコース	11	リマ✕→クスコ/セイクリッドバレー✕✕マチュピチュ✕✕クスコ→リマ✕→カヤオ→パラカス/ビスコ/ナスカ→アリカ→イキクエ→ラセレナ→バルパライソ	4,298～
2023年10月4日	MSロアール・アムンセン	ペルーとチリ ガラパゴス諸島と インカの見どころ Aコース	14	キト✕→グアヤキル サンタクルス島→ガラパゴス諸島✕→グアヤキル→リマ✕→カヤオ→パラカス/ビスコ→アリカ→イキクエ→ラセレナ→バルパライソ	5,815～
2023年10月7日	MSロアール・アムンセン	ペルーとチリ マチュピチュと インカの見どころ Bコース	11	リマ✕→クスコ/セイクリッドバレー✕✕マチュピチュ✕✕クスコ→リマ✕→カヤオ→パラカス/ビスコ/ナスカ→アリカ→イキクエ→ラセレナ→バルパライソ	4,298～
2023年10月14日	MSフリチョフ・ナンセン	ペルーとチリ ガラパゴス諸島と インカの見どころ Aコース	14	キト✕→グアヤキル サンタクルス島→ガラパゴス諸島✕→グアヤキル→リマ✕→カヤオ→パラカス/ビスコ→アリカ→イキクエ→ラセレナ→バルパライソ	5,815～
2023年10月17日	MSフリチョフ・ナンセン	ペルーとチリ マチュピチュと インカの見どころ Bコース	11	リマ✕→クスコ/セイクリッドバレー✕✕マチュピチュ✕✕クスコ→リマ✕→カヤオ→パラカス/ビスコ/ナスカ→アリカ→イキクエ→ラセレナ→バルパライソ	4,298～

## ガラパゴス諸島

出発日	船名	コース名	日数	訪問都市	料金(€)
2023年7月5日、19日、8月2日、16日、30日、9月13日、27日、10月11日、25日、11月8日、22日、12月6日、20日 2024年1月3日、17日、31日、2月14日、28日、3月13日	MSサンタクルスII	ガラパゴス諸島の探検 ダーウィンの足跡をたどって	9	キト✕→ガラパゴス諸島(バルトラ島→サンクリストバル島→サンタフェ島→サウスブラザ島→サンタクルス島→エスパニョーラ島→エデン島→ノースセイモア島)→グアヤキル→キト	6,963～

## 英国諸島

出発日	船名	コース名	日数	訪問都市	料金(€)
2024年3月31日	MSスピッツベルゲン	英国諸島 スコッチウイスキートレイル& アイリッシュ海の探検	11	グラスゴー→ポートラッシュ→ベルファスト→マン島→ダブリン→アラン島→マル島→フォートウィリアム→オーバン→アイラ 島→グラスゴー	3,418～
2024年5月20日	MSスピッツベルゲン	スコットランド諸島 ウイスキーと野生動物へブリディーズ諸島 からシェトランド諸島へ 北行き	13	グラスゴー→ベルファスト→マン島→アイラ島→アイオナ島→トレッシュニッシュ諸島→スカイ島→カンナ島→セントキルダ島→ストノウェイ→カークウォール(オークニー諸島)→フェア島→ラーウィック→ベルゲン	4,489～

## ノルウェー

出発日	船名	コース名	日数	訪問都市	料金(€)
2023年9月30日、10月14日、28日、11月11日、25日、12月9日	MSモード	オーロラ探訪 ロンドン発着	15	ロンドン→ハーウィック→ノールフィヨルド→レイネ→アルタ→トロムソ→ナルヴィック→ベルゲン→エーゲルスン→ロンドン	4,485～
2024年1月6日、20日、2月3日、17日、3月2日、16日、30日	MSモード	オーロラ探訪 アムステルダム発着	14	エマイデン(アムステルダム)→デンヘルダー→スタヴァンゲル→カルバーゲ→スボルベル→トロムソ→ホニングスヴォーグ→トロンハイム→ファーランド→ベルゲン→エマイデン(アムステルダム)	3,690～

※都市間移動が飛行機移動の場合✕、列車移動の場合🚆、車移動の場合🚗 ※クルーズ船以外で宿泊がある場合✕

クルーズ料金は変動制であり、航路は変更になる場合があります。

# エクスペディションクルーズの魅力

## 熟練ガイドとエクスペディションチーム

エクスペディションチームメンバーは全員が、特定のクルーズやコースのために選ばれたそれぞれの分野のスペシャリストです。彼らはコースに含まれるアクティビティに同行し、船上や寄港地でレクチャーを行い、教育的な催しの進行役も務めます。

## 船上と寄港地でのアクティビティ

訪問地をより深く楽しむよう計画されたアクティビティにご参加ください。小型探検ボートでのクルーズや寄港地探訪などが楽しめます。

## サイエンスセンターでのレクチャーと催し

歴史、野生動物、氷河、文化、気候変動と持続可能性についての詳しいレクチャーが開かれます。訪問地についての特別なテーマのレクチャーでは、エクスペディションクルーズの意味をくみ取り、訪問地に対する理解が深まります。

ウェルカムイベント、翌日の要点説明や準備のための日々の集まりを通して、エクスペディションチームとの打ち解けた雰囲気をお楽しみください。

クルーズ中の写真と映像は「エクスペディション・ログブック」で共有されます。

エクスペディションチームとの食事やオフィサーとの交流の機会があります。

初心者向けの写真レクチャーやカメラのセッティング、撮影のコツ、トリック撮影などの無料レクチャーがあります。

教育的な催しで環境について学び、船内ライブライリーでは知識の先取りができます。

## リラックス&疲労回復のためのウェルネス施設

温水ジャグジー、サウナとフィットネスルームを完備(屋外プールはMSロアル・アムンセン、MSフリチョフ・ナンセン、MSオットー・スヴェルドルuppに設置)。

## 国際色豊かなお食事とお飲み物

朝食、昼食、夕食すべて含まれます。昼食と夕食時には船内レストランにて、ハウスワイン、ビール、炭酸飲料、ミネラルウォーターを無料でご提供します。紅茶とコーヒーはいつでも無料です。



## ハイキングやアクティビティ用の装備の貸出

季節や訪問地によっては、ポールやブーツなどの装備の貸出を行います。ただし種類や数には限りがあります。

## クルーズをより楽しむためのエクストラ

「ヘリー・ハンセン」の防風・防水加工のジャケットと繰り返し使えるウォーターボトルを無料でご提供します。



無料Wi-fiの使用が可能です。

※接続環境は陸地から離れた海上では限定的です。

エクスペディションクルーズ終了時にはお別れイベントが催されます。

## エクスペディションスイートの特典

専用チェックインや、ウェルカムギフト、シャンパン&スナック、リンストロムでの夕食と朝食、無料のランドリーサービス、ミニバー、船長からのご挨拶など多くの特典がございます。



更なるお役立ち情報やエクスペディションクルーズの詳しい船内情報は、フッティルテンの公式サイト [hurtigruten.com](http://hurtigruten.com) (英語) をご参照ください。

## 船上サービス一覧

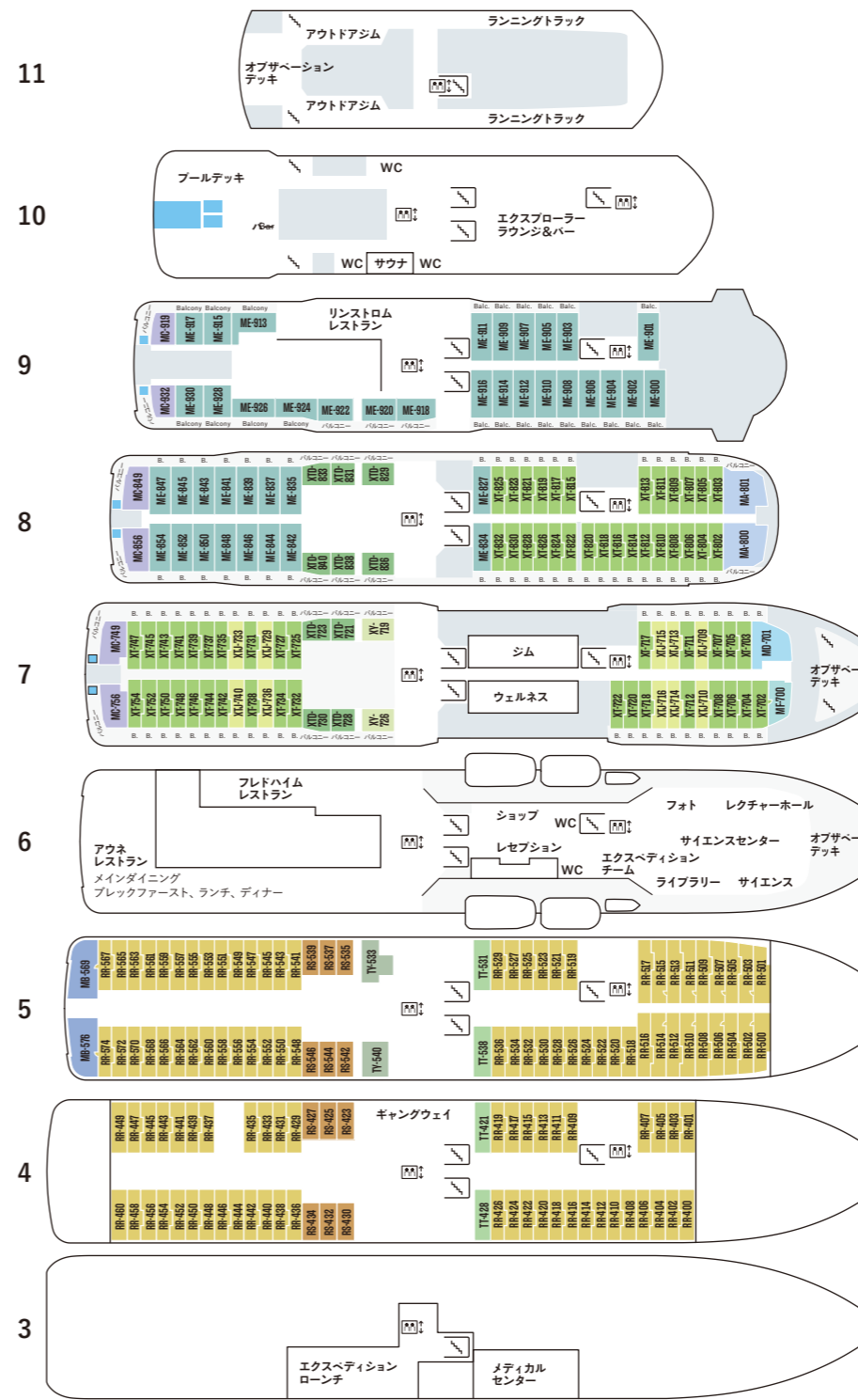
	ポーラー インサイド	ポーラー アウトサイド	アーキティック スーパーリア	エクスペディション スイート
MSフリチョフ・ナンセン	-	RR, RS	XT, XY, TT, TY	MA, MB, MC, MD, ME, MF
MSロアル・アムンセン	-	RR, RS	XT, XY, TT, TY	MA, MB, MC, MD, ME, MF
MSフラム	I	FJ, SD, N	U, F	Q, MG
MSスピッツベルゲン	I, K	AJ, J, A, N, O	P, U, QJ, YA	Q, MG, MX
MSノールスチャーネン	I, D, E	N, J, A	-	-
<b>食事</b>				
お食事(朝食、昼食、夕食)	✓	✓	✓	✓
エクスペディションチームと一緒にディナー	✓	✓	✓	✓
フレドハイムでのカジュアルなお食事***	✓	✓	✓	✓
リンストロムでのアラカルトのお食事**	+	+	+	※
スイートご利用のお客様専用リンストロムでの朝食**	-	-	-	-
早起きの方へ 5時~7時までのコンチネンタル朝食*	✓	✓	✓	✓
午後のスナック サンドウィッチやペイストリー*	✓	✓	✓	✓
<b>飲物</b>				
全てのレストランでハウスワイン、ビール、ソーダ、水を昼食、夕食時にサービス	✓	✓	✓	✓
バーとレストランでワイン、ビール、ソーダ、水を全日サービス*	++	++	++	++
コーヒー、紅茶*	✓	✓	✓	✓
<b>アメニティ</b>				
防水、防風のエクスペディションジャケット*	✓	✓	✓	✓
繰り返し使えるアルミ製ウォーターボトル*	✓	✓	✓	✓
シャワー・ジェル、シャンプー、コンディショナー	✓	✓	✓	✓
ヘッドライヤー	✓	✓	✓	✓
羊毛素材のブランケット*	✓	✓	✓	✓
キャビンキット(バスローブ、スリッパ)*	-	-	✓	✓
エスプレッソメーカー*	-	-	-	-
ケトル(紅茶/コーヒー)*	✓	✓	✓	✓
テレビ*	✓	✓	✓	✓
ミニバー(毎日補充)*	-	++	++	※※
Wi-Fi(船の位置とインターネット接続状況次第)	✓	✓	✓	✓
アクティビティに必要な装備の貸出	✓	✓	✓	✓
<b>サービス</b>				
優先チェックインとシャンパンのサービス*	-	-	-	✓
船長からのご挨拶と乗船歓迎のプレゼント(カラビナ付き時計 スナックプレート、シャンパン)*	+	+	+	✓
乗船歓迎のプレゼント(スナックプレート)	-	-	✓	-
ルームサービス*	+	+	+	✓
ターンダウンサービス*	-	-	✓	✓
ランドリーサービス*	+	+	+	✓

\*MSノールスチャーネンを除く \*\*MSスピッツベルゲンとMSノールスチャーネンを除く \*\*\*MSフリチョフ・ナンセンとMSロアル・アムンセンのみのサービス  
 ✓含む +事前予約でアップグレード可能 +船上でのアップグレード可能 -適用外  
 上記、船上サービス一覧でご紹介した内容は、客室のカテゴリーや船によって異なります。また、事前の予告なしに変更となる場合がございます。  
 ※リンストロムでの夕食は乗船日+5日となります(それ以上は空席次第で承ります)。 ※※初回のみ無料となります。

## シップインフォメーション

# MS FRIDTJOF NANSEN MSフリチョフ・ナンセン MS ROALD AMUNDSEN MSロアル・アムンセン

ノルウェーの偉大な探検家の名を冠したクルーズ新造船。船舶としては世界初、最新鋭のハイブリッドエンジンを搭載した環境にやさしいエコシップです。動力に燃料と電気を組み合わせることにより、燃料消費量とCO<sup>2</sup>排出量を20%削減することに成功しました。



## エクスペディションスイート

- MA XLスイート(Deck8)**  
46-48㎡ プライベートバルコニー、フレキシブルベッド、ソファベッド、テレビ、ミニバー、湯沸かしポット、エスプレッソメーカー
- MB XLスイート(Deck5)**  
44㎡ フレキシブルベッド、ソファベッド、テレビ、ミニバー、湯沸かしポット、エスプレッソマシーン
- MC コーナースイート(Deck7/8/9)**  
20-30㎡ プライベートバルコニー、ジャグジー、フレキシブルベッド、ソファベッド(一部あり)、テレビ、ミニバー、湯沸かしポット、エスプレッソマシーン\*車いす対応可能
- MD Lスイート(Deck7)**  
35㎡ プライベートバルコニー、フレキシブルベッド、ソファベッド、湯沸かしポット、エスプレッソマシーン\*車いす対応可能
- ME スイート(Deck8/9)**  
22-28㎡ プライベートバルコニー、フレキシブルベッド、ソファベッド(一部あり)、テレビ、ミニバー、湯沸かしポット、エスプレッソマシーン
- MF スイート(Deck7)**  
22㎡ フレキシブルベッド、テレビ、ミニバー、湯沸かしポット、エスプレッソマシーン

## アーキティックスーパーリア

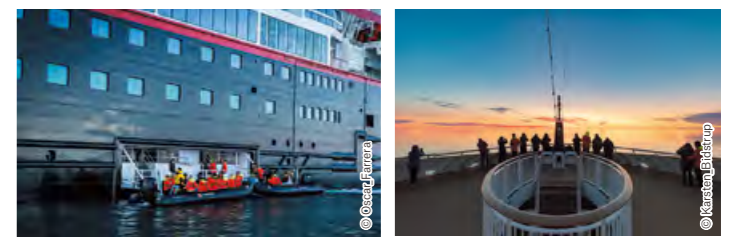
- XT 海側スーパーリア(Deck7/8)**  
18㎡ バルコニー、ダブルベッドまたはフレキシブルベッド、ソファベッド(一部あり)、テレビ、湯沸かしポット
- XTD 海側スーパーリア(Deck7/8)**  
15-19㎡ バルコニー、ダブルベッド、ソファベッド(一部あり)、テレビ、湯沸かしポット
- XTJ 海側スーパーリア(Deck7)**  
18㎡ バルコニー、ダブルベッドまたはフレキシブルベッド、テレビ、湯沸かしポット、一部視界不良
- XY 海側スーパーリア(Deck7)**  
19㎡ ダブルベッド、ソファベッド(一部あり)、湯沸かしポット\*車いす対応可能
- TT 海側スーパーリア(Deck4/5)**  
27㎡ フレキシブルベッド、ソファベッド、テレビ、湯沸かしポット
- TY 海側スーパーリア(Deck5)**  
24-26㎡ フレキシブルベッド、テレビ、湯沸かしポット\*車いす対応可能

## ポーラーアムンセン

- RR 海側キャビン(Deck4/5)**  
19-23㎡ フレキシブルベッド、ソファベッド(一部あり)、テレビ
- RS 海側キャビン(Deck4/5)**  
17㎡ ダブルベッド、テレビ  
 ※RSカテゴリーは2024年からは失くなります。  
 ※デッキプランはMSフリチョフ・ナンセン

## SHIP DATA

- 建造年: 2020年 (MSフリチョフ・ナンセン) 2019年 (MSロアル・アムンセン)
- 総トン数: 20,889トン
- 全長: 140メートル
- 全幅: 23.6メートル
- アイスクラス: PC6 (1ASuperに相当)
- 乗客定員: 530人(南極以外) : 500人(南極)
- デッキ数: 11層
- 巡航速度: 15ノット



## MS FRAM MSフラム

フラムとは「前へ」という意味で、ノルウェー出身の探検家ナンセン、アムンセンの探検船に因んで命名されました。シンプルで洗練された北欧の家具が配され、グリーンランドや南極大陸をモチーフにしたアートが飾られています。2020年に改装。

### 主な船内施設

- エクスペディションチーム
- スタイリッシュなインテリア
- 2つのレストラン
- サイエンスセンター
- エクスプローラーラウンジ&バー
- フィットネスルーム、サウナ
- 2つの屋外ジャグジー

### SHIP DATA

- 建造年: 2007年(2020年改装)
- 総トン数: 11,647トン
- 全長: 114メートル
- 全幅: 20.2メートル
- アイスクラス: 1B
- ベッド数: 276床
- デッキ数: 8層
- 巡航速度: 13ノット



アウネ(レストラン)



エクスプローラーラウンジ



アークティックスーベリア



ミニスイート

## MS SPITSBERGEN MSスピッツベルゲン

二酸化炭素排出量と使用燃料を最低限に抑えた21世紀に相応しい環境に優しいエコシップ。小回りの利くサイズで操作性にも優れています。スカンジナビア風のモダンな家具が配され、快適な滞在をお約束します。

### 主な船内施設

- エクスペディションチーム
- スカンジナビア・モダンの家具
- 1つのレストラン
- サイエンスセンター
- エクスプローラーラウンジ&バー
- フィットネスルーム、サウナ
- 2つのジャグジー

### SHIP DATA

- 建造年: 2009年(2016年改装)
- 総トン数: 7,344トン
- 全長: 100.54メートル
- 全幅: 18メートル
- アイスクラス: 1C
- ベッド数: 243床
- デッキ数: 8層
- 巡航速度: 15ノット



エクスプローラーラウンジ



アウネ(レストラン)



ポーラーインサイド



アークティックスーベリア

## お得なリピーター会員プログラム 「1893アンバサダー」

フッティルテンでは、お得なリピーター会員プログラム「1893アンバサダー」をご用意しております。対象となるのは、ノルウェー沿岸急行船、または探検クルーズを3泊以上ご利用いただいた方。入会をご希望の方は乗船後、下記サイト(英語版)でご登録ください(ご予約番号が必要です)。会員の方々には無料のニュースレター(英語版)をお送りいたします。



### ●乗船料金が5%割引

#### ノルウェー沿岸急行船

2回目以降の乗船料金が5%割引になる特典です。季節ごとに異なるノルウェーの魅力を感じてください。

### ●クルーズ料金が5%割引

#### 探検クルーズ

フッティルテンでは南極やグリーンランドなどの探検クルーズも実施しています。沿岸急行船をご利用後、探検クルーズをご利用の場合

ご登録URL 1893 Ambassador loyalty programme | Hurtigruten Norwegian Coastal Express

合、料金が5%割引になります。早期申込割引との併用も可能です。

### ●寄港地ツアーが5%割引

#### ノルウェー沿岸急行船

一部の寄港地ツアーの料金が5%割引になるお得な特典です。

### ●客室に「ウェルカム・バスケット」をご用意

フルーツやナッツなどが入ったウェルカム・バスケットを乗船日、客室にご用意いたします。

## ノルウェー沿岸エクスペディションシップ

ノルウェーの素晴らしい景色が船のインテリアデザインに反映されています。花崗岩、オーク材、シラカバ、ウールなど天然のスカンジナビア産素材がふんだんに使われた客室、居心地の良い公共エリアは、「世界で最も美しい船旅」をクルーズするための最高の環境です。

サスティナビリティなクルーズを掲げ、通常の海洋ディーゼルと比較し最大で80%のCO2排出量を削減できる環境認定バイオディーゼルと低排出燃料を組み合わせ運航します。このバイオディーゼルは産業廃棄物を再利用して生産されており、パーム油を使用しないことで熱帯雨林に悪影響を及ぼしません。

## MS MAUD MSモード

現在のMSトルフィヨルド。1917年のロアル・アムンセンが率いた最も有名な極地探検船モード号に由来する名前です。



### SHIP DATA

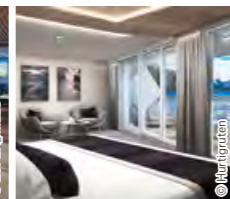
- 建造年: 2003年(2021年改装)
- 総トン数: 16,140トン
- 全長: 135.75メートル
- 全幅: 21.5メートル
- ベッド数: 532床
- デッキ数: 9層
- 巡航速度: 15ノット



フレドハイム(レストラン)



エクスプローラーラウンジ



バルコニースイート

## MS OTTO SVERDRUP MSオットー・スヴェルドルupp

グリーンランドをスキーで初めて横断した人物で、伝説的な極地探検船フラム号の船長だった探検家から名付けました。



### SHIP DATA

- 建造年: 2002年(2020年改装)
- 総トン数: 15,690トン
- 全長: 138.5メートル
- 全幅: 21.5メートル
- ベッド数: 554床
- デッキ数: 8層
- 巡航速度: 15ノット



アウネ(レストラン)



エクスプローラーラウンジ、バー



エクスペディションスイート

## ガラパゴス諸島クルーズシップ

## MS NORDSTJERNEN MSノールスチャーネン

MSノールスチャーネンは1956年に建造された歴史ある船です(2014年に改装)。現在は夏の期間のみ、スピッツベルゲンを航行します。美しい木目調のインテリアが醸し出すレトロで暖かい雰囲気が人気です。

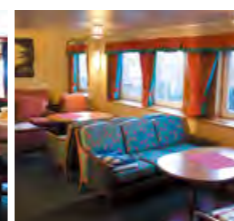


### SHIP DATA

- 建造年: 1956年(2014年改装)
- 総トン数: 2,191トン
- 全長: 80.77メートル
- 全幅: 12.6メートル
- アイスクラス: 1C
- 乗客定員: 108名
- デッキ数: 4層
- 巡航速度: 15ノット



レストラン



ラウンジ



ポーラーアウトサイド N2

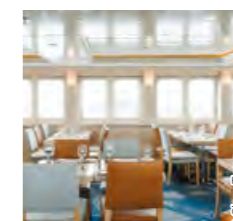
## MS SANTA CRUZ II MSサンタクルスII

カーボンニュートラルな運航を行う環境的に持続可能で地域社会と関係にも配慮したエクスペディションシップ。定員90名の小さな空間には居心地の良さ上品さを兼ね備えています。

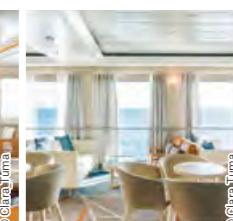


### SHIP DATA

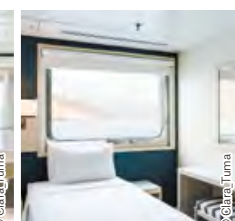
- 建造年: 2002年(2021年改装)
- 総トン数: 2,664トン
- 全長: 71.8メートル
- 全幅: 13.4メートル
- 収容人数: 90人
- 巡航速度: 10.5ノット



ビッグレストラン



パノラマラウンジ



ポーラーシングルキャビン(VH)